

過年度学生要覧の変更点について (2013年度版)

2012年度以前カリキュラム用

TOKYO DENKI UNIVERSITY
School of Science and
Technology for Future Life

2013年度の変更点 抜粋

2013年度 年間行事予定

※ 予定のため変更の可能性があります。変更の場合は事前に掲示にて周知します。

前期 行事予定							予定	
日	月	火	水	木	金	土		
4月		1	2	3	4	5	6	4/2 入学式
	7	8	9	10	11	12	13	4/3-6 オリエンテーション
	14	15	16	17	18	19	20	4/8 前期・前前期授業開始日
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					4/29 昭和の日【授業実施日】
5月			1	2	3	4		5/2 振替休講日
	5	6	7	8	9	10	11	5/3 憲法記念日 みどりの日
	12	13	14	15	16	17	18	5/5 こどもの日 5/6 振替休日(5/5 こどもの日)
	19	20	21	22	23	24	25	5/12 合同体育祭
	26	27	28	29	30	31		5/28 前前期授業終了日 (火曜日の科目)
								5/29 前前期授業終了日 (水曜日の科目)
6月							1	6/4 前後期授業開始日 (火曜日の科目)
	2	3	4	5	6	7	8	6/5 前後期授業開始日 (水曜日の科目)
	9	10	11	12	13	14	15	6/8 前前期授業終了日 (火・水曜日以外の科目)
	16	17	18	19	20	21	22	6/10 前後期授業開始日 (火・水曜日以外の科目)
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	7/15 海の日【授業実施日】
	14	15	16	17	18	19	20	7/16-17 授業予備日
	21	22	23	24	25	26	27	7/27 前期・前後期授業終了日
	28	29	30	31				7/29-8/1 学力考査予備日
8月				1	2	3		8/2 振替休講日
	4	5	6	7	8	9	10	8/5-9/8 夏季休業
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	
	8							

後期 行事予定							予定	
日	月	火	水	木	金	土		
9月								9/9 後期・後前期授業開始日
		9	10	11	12	13	14	9/11 創立記念日【授業実施日】
	15	16	17	18	19	20	21	9/16 敬老の日【授業実施日】
	22	23	24	25	26	27	28	9/23 秋分の日【授業実施日】
	29	30						
10月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	10/14 体育の日【授業実施日】
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			10/30-31 振替休講日
11月					1	2		11/1-5 旭祭(学園祭)による休講 旭祭(学園祭)
	3	4	5	6	7	8	9	11/3 文化の日 11/4 振替休日(11/3 文化の日)
	10	11	12	13	14	15	16	11/9 後前期終了日
	17	18	19	20	21	22	23	11/11 後後期開始日
	24	25	26	27	28	29	30	11/23 勤労感謝の日【授業実施日】
12月	1	2	3	4	5	6	7	12/23 年内授業最終日(月曜の最終授業日) 天皇誕生日【授業実施日】
	8	9	10	11	12	13	14	12/24-25 授業予備日
	15	16	17	18	19	20	21	12/26 振替休講日
	22	23	24	25	26	27	28	12/27-1/6 冬季休業
	29	30	31					
2014				1	2	3	4	1/7 授業再開
1月	5	6	7	8	9	10	11	1/11 後期・後後期授業終了日
	12	13	14	15	16	17	18	1/13 成人の日
	19	20	21	22	23	24	25	1/14-16 振替休講日
	26	27	28	29	30	31		1/17-19 大学入学センター試験2号館立入禁止
								1/20 授業予備日
								1/21-24 学力考査予備日
2月						1		1/25- 春季休業
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	2/11 建国記念日
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28		
3月						1		3/1 進級/卒業発表
	2	3	4	5	6	7	8	3/18 卒業式/修了式
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	3/21 春分の日
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						

カレンダーの見方

- 授業を行わない日
- 授業を行う日(祝日・休日などでも授業を行う)
- ① など 各曜日ごとの授業回数
- 四半期授業終了日、開始日

※ 長期休業期間は、集中講義・補講などを実施する場合があります。
 ※ 2014年度以降の予定については、掲示にて周知します。

目 次

第1章 在学生の皆さんへ	
1 知っておいて欲しいこと	2
1-1 皆さんへの情報伝達・連絡の方法	2
1-2 出席について	3
1-3 交通機関のストライキ及び自然災害発生時等の授業措置について	4
第2章 履修案内	
1 授業科目について	8
2 授業について	12
3 履修計画・履修届	15
4 学力考查	18
5 成績	21
6 再履修	24
7 卒業までの学修	25
8 進級と留年	25
9 卒業	29
10 前期末卒業	33
学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」操作マニュアル	35
授業科目配当表	
共通教育科目	
人間科学科目	72
英語科目	76
専門教育科目	
建築学科	79
情報メディア学科	87
ロボット・メカトロニクス学科	99
第3章 学則および諸規程	
1 東京電機大学 学則	110
2 東京電機大学未来科学部規程	119
3 試験に関する細則	122
4 学生アドバイザーに関する規程	124

はじめに

本冊子は、過年度未来科学部学生要覧「学修案内」の項等を抜粋し、重要な変更点には赤網掛けをして表示しています。この過年度学生要覧は工学部・未来科学部事務部ホームページでも確認できます。

●工学部・未来科学部事務部ホームページ <http://www.soe.dendai.ac.jp/kyomu/> ●

なお、従来、留年した学生のカリキュラムは、正規に進級してきた学年と同じカリキュラムを適用していましたが、2012年度より、入学時に適用されたカリキュラム（2011年度以前在籍者は2011年度に適用のカリキュラム）を卒業まで適用するよう変更しています。そのため、自身に適用されたカリキュラム年度の学生要覧を参照してください（2012年度カリキュラムとそれ以前のカリキュラムでは、卒業条件、進級条件、配当科目等が大きく異なります）。

第1章 在学生の皆さんへ

1 知っておいて欲しいこと

1-1 皆さんへの情報伝達・連絡の方法

みなさんへの告示、通知、呼出しなどは、学生ポータルサイト DENDAI-UNIPA（以下、UNIPA（ユニパ））で「掲示」します。本文中に記載されている「掲示」とは、主に UNIPA に届く通知・連絡を指します。

大学は、高校などとは異なりホームルームがありません。学生生活に必要な情報の取得、履修登録、スケジュール管理等は全て自身で行う必要があります。

講義の休講・補講、教室の臨時変更などの連絡をはじめ、履修登録（受講する科目の選択）や成績の発表など、あらゆる連絡・手続きの手段として UNIPA を利用します。

自分で責任を持って、必ず毎日複数回 UNIPA を確認し、見落としや手続きモレが生じないように注意して、充実した学生生活を送ってください。

UNIPA に関しては、第2章で詳しくご案内していますので確認してください。

TDU 学生ポータルサイト DENDAI-UNIPA

ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト

個人別情報 | 時間割 | 授業 | 成績関連 | アンケート/Q&A

ポータル | クラスプロフィール | マイステップ

2012年 12月 本日 スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

授業情報

12月19日(水)
該当する授業はありません。

12月20日(木)
【千住】授業終了(年内)
該当する授業はありません。

お気に入りタイトル

求人検索NAVI(学生用)
キャリア・就職支援(講座・イベント)

重要な連絡 [全授業]

呼び出しを含む重要なお知らせです。必ず確認してください。

- 【千住・窓口業務】平成24年度 年末年始の窓口時間について(工学部・未来科学 .. 工学部・未来科学部事務部 [2012/12/17]
- 【重要】12/27(木)UNIPAの運用停止のお知らせ システム運用者 [2012/12/15]
- 【千住・試験】後期学事日程(試験日程)・定期試験実施要領・追試験について 工学部・未来科学部事務部 [2012/12/04]
- 【千住・出席】後期出席データの更新について 工学部・未来科学部事務部 [2012/11/07]

全4件

授業に関するお知らせ [全授業]

授業や履修に関するお知らせです。
お知らせはありません。

全0件

休講・補講連絡 [全授業]

休講・補講・教室変更に関するお知らせです。
お知らせはありません。

UNIPA 画面

1-2 出席について

講義の出席確認は、教室の壁面に備え付けられているカードリーダーに、学生証をタッチして行います。カードリーダーの備え付けられていない部屋、科目担当教員の出席確認方法によっては、この限りではありませんので、教員の指示に従ってください。

講義等に出席する際にタッチするカードリーダー（出欠管理）



教室壁面のタッチ面

出欠管理のためのカードリーダーは、教室内または外の壁面にあります。タッチの際は優しくタッチするようにしてください。

（タッチの際の注意点）

・タッチする時間について

時限の開始 10 分前から時限終了前までにタッチした場合、その時限に出席したというデータとして認識されます。

<イメージ：通常の授業期間の例>



・正常に読み取れた場合のカードリーダー音について

音が短く聞こえる場合と長く聞こえる場合があるようです。

この現象はコントローラの負荷状況またはブザーの機械的な条件によるものですが、読み取りには問題ありません。

・正常な読み取り時とエラー時の違いについて

正常に読み取れた場合（OK音）→ピッ

エラー時（NG音）→ピーピーピー

端末のランプの点滅でも確認できますので、学生証タッチ時には音だけでなく、ランプでも確認するようにしてください。トラブルを避けるためにも確認してください。

1-3 交通機関のストライキ及び自然災害発生時等の授業措置について

(1) 交通機関がストライキ等により運休の場合

首都圏JR各線がストライキ等により運休と報道された場合の授業の取扱いは、次のとおりです。

(工学部、未来科学部の科目の場合)

- ①午前6時において運休が解除されている場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午前6時において運休の場合は、午前中の授業は休講となります。
- ③午前9時において運休の場合は、終日休講となります。

(工学部第二部の科目の場合)

(月～金曜日)

- ①午後3時において運休が解除されている場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午後3時において運休の場合は、終日休講となります。

(土曜日)

- ①午前6時において運休が解除されている場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午前6時において運休の場合は、午前中の授業は休講となります。
- ③午前9時において運休の場合は、終日休講となります。

その他の私鉄のみがストライキ等により運休のときは、平常通り授業を行います。

(2) 台風等による暴風警報が発令された場合

東京23区に暴風警報が発令されている場合の授業の取扱いは、次のとおりです。

(工学部、未来科学部の科目の場合)

- ①午前6時において暴風警報が解除された場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午前9時において暴風警報が解除された場合は、午前中の授業は休講とし、午後は平常通りの授業を行います。
- ③午前9時において暴風警報が解除されない場合は、終日休講となります。

(工学部第二部の科目の場合)

(月～金曜日)

- ①午後3時において暴風警報が解除された場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午後3時において暴風警報が解除されない場合は、終日休講となります。

(土曜日)

- ①午前6時において暴風警報が解除された場合は、平常通りの授業を行います。
- ②午前9時において暴風警報が解除された場合は、午前中の授業は休講とし、午後は平常通りの授業を行います。
- ③午前9時において暴風警報が解除されない場合は、終日休講となります。

なお、暴風警報が発令されていない場合でも、気象状況は時間の経過とともに変化することがありますので、状況に応じて休講の措置をとる場合があります。大学発表の情報を必ず確認してください。

また、授業開始以後に暴風警報が発令された場合は、学内放送、大学ホームページ及び UNIPA で授業措置の情報を発信します。

(3) その他、緊急事態の状況によっては、前述にかかわらず別途の措置を講ずる場合があります。

(4) 上記の措置を行う場合、直ちに大学ホームページ及び UNIPA へ掲載するので、各自確認してください。

第2章 履修案内

赤網掛け部分が変更点です。

1 授業科目について

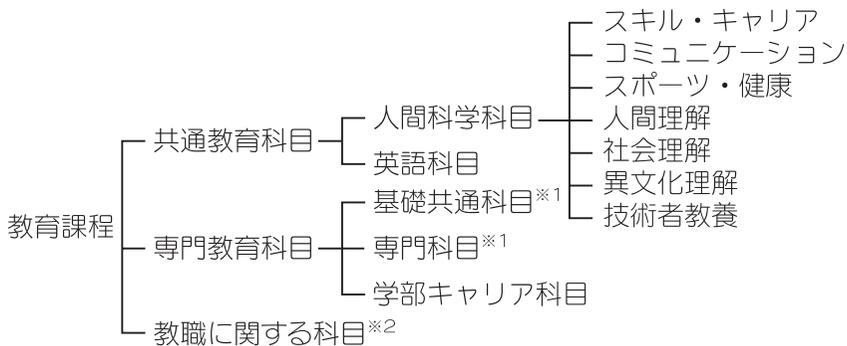
未来科学部で本年度に開講される授業科目は、授業科目配当表のとおりです。授業科目配当表には ①教育課程（授業科目）、②単位数、③科目区分（必修、選択、自由科目）、④配当学年、⑤配当期（前期、後期、通年等）、⑥毎週授業時限数（コマ数）などが記載されています。

なお、授業科目配当表は、入学時から卒業までに配当されている全授業科目が記載されています。4年間で卒業することが原則ですが、進級判定や卒業判定により、留年や卒業が延期となった場合でも、入学時に配当された科目によって進級・卒業条件を満たさなければなりません。

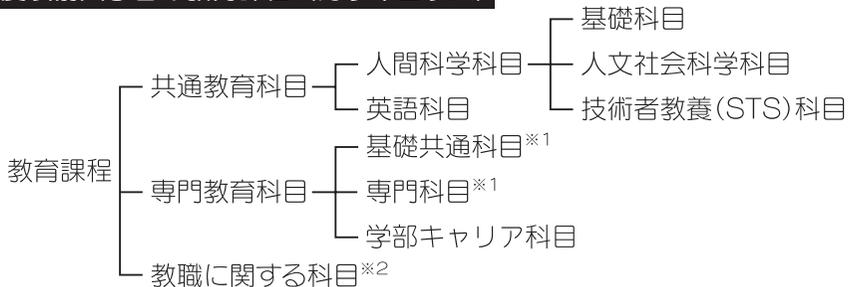
1-1 教育課程（カリキュラム）

本学部では教育課程（カリキュラム）を、次のように構成しています。

2012年度入学者の教育課程（カリキュラム）



2011年度以前入学者の教育課程（カリキュラム）



※ 1 数学・物理・化学関連科目は基礎共通科目、及び専門科目に含まれます。

※ 2 「教職に関する科目」の詳細は、教職課程要覧を参照してください。

* 外国人留学生については、本学規程に基づく履修科目の特例として、特別の科目を履修することができます。詳細は「留学生学習案内」を参照してください。

1-2 カリキュラム年度

入学時に配当されるカリキュラムの年度のことです（カリキュラム年度は UNIPA の【個人情報】画面で確認できます）。

カリキュラム年度は、卒業するまで同じカリキュラム年度です。

カリキュラムとは、授業科目配当表や進級条件・卒業条件など、卒業までの条件の組合せのことです。同一学科・学年であっても、カリキュラム年度によって配当されている科目や単位数、必修・選択区分などが異なる場合があります。

2012年度に入学した学生のカリキュラム：2012年度カリキュラム

2011年度以前に入学した学生のカリキュラム：2011年度に適用のカリキュラム

1-3 キャリア科目 **2012・2011年度カリキュラム**

未来科学部では、学生が卒業後に社会的・職業的自立につながる就業力を育成するためのキャリア科目を各学年に展開しています。

1年次 フレッシュマンセミナー（前期） 東京電機大学で学ぶ（前期）

2年次 未来科学キャリアワークショップ（前期／後期）

3年次 未来科学プロジェクトA（前期／後期）

4年次 未来科学プロジェクトB（前期／後期）

※ 2年次の未来科学キャリアワークショップは必修科目です。 **(2012年度カリキュラムのみ)**

※ 1年次科目は人間科学科目に、2～4年次科目は専門教育科目（学部キャリア科目）に相当しています。

1-4 総合教育科目 **2011年度以前カリキュラム**

未来科学部では、学科を横断する「総合教育科目」を展開しています。

人間科学科目の中から一般総合教育科目として、下記の7科目の履修を推奨します。

芸術（人文社会科学科目）、企業と経営（人文社会科学科目）、認知心理学（人文社会科学科目）、科学の社会史（STS科目）、技術の社会史（STS科目）、失敗学（STS科目）、地球環境論（STS科目）

また、未来科学部の専門教育科目のうち次に示す科目を分野総合教育科目として指定します。分野総合教育科目は、他学科からの履修者を広く受け入れます。ただし、以下の点に注意してください。

- ・ 修得した分野総合教育科目の単位数のうち、卒業所要単位として算入できる単位は、他の大学等における授業科目の履修（学則）と合わせて60単位を超えることはできません。
- ・ ①必修科目・選択科目は、当該学生の所属するそれぞれの区分の選択科目として扱います。
- ・ ②自由科目は、自由科目として扱います。
- ・ 分野総合教育科目は上級年次に配当されている場合も履修することができ、現学年次の進級条件にも算入されます。

【建築学科（FA科）が指定する他学科の分野総合教育科目】

- CG・映像メディアの基礎 [F I科 1年]
- メディアアート [F I科 4年]
- ロボットメカトロニクス概論 [F R科 1年]
- 特別講義 B [F R科 1年]

【情報メディア学科（F I科）が指定する他学科の分野総合教育科目】

- 建築設計概論 [F A科 1年]
- 保存と再生 [F A科 2年]
- ロボットメカトロニクス概論 [F R科 1年]
- 特別講義 B [F R科 1年]

【ロボット・メカトロニクス学科（F R科）が指定する他学科の分野総合教育科目】

- 建築設計概論 [F A科 1年]
- アルゴリズムックデザイン [F A科 3年]
- CG・映像メディアの基礎 [F I科 1年]
- ユビキタスコンピューティング [F I科 4年]

※配当期は、授業科目配当表または時間割で確認してください。

1-5 単位数

大学では、各科目の形態に応じて単位数が定められています。単位とは科目の学修量を数値化したものです。授業科目の1単位は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

各科目の単位は、その授業方法・授業時間外に必要な学修を考慮し、次の基準により計算します。

科目種別	基準
講義及び演習	15時間の授業をもって1単位
実験・実習・製図及び実技	30時間の授業をもって1単位
卒業研究等	学習の成果を考慮して単位数を定めています。

※必要な学修時間の計算例

(h = 時間)

科目形態		科目の 単位数	必要時間①	授業時間数②	授業時間外に必要な学修 時間（週あたり）
講 義 ・ 演 習	半期科目 15hで1単位	2単位	45h×2単位 =90h	15h×2単位 =30h	$(①90h - ②30h) \div 15週$ ⇒4h
	半期科目 15hで1単位	3単位	45h×3単位 =135h	15h×3単位 =45h	$(①135h - ②45h) \div 15週$ ⇒6h
実 験 ・ 実 習 等	通年科目 30hで1単位	3単位	45h×3単位 =135h	30h×3単位 =90h	$(①135h - ②90h) \div 30週$ ⇒1.5h

1単位は45時間の学修を標準としていますので、授業以外の時間は、自ら授業時間外の学修として行うことになります。

1-6 科目の区分（必修・選択・自由科目）

科目には次の区分があり、「授業科目配当表」に記載されています。

区分	区分の詳細	内容
必修科目	必修科目	単位修得が義務づけられている科目。進級や卒業するためには必ず単位を修得しなければいけない。
	択一必修科目	指定の数科目のうちから1科目のみ必ず選択し、選択したものが必修となる科目。
選択科目	選択科目	各人の意思により選択する科目。単位修得の義務はないが、卒業所要単位数に算入される科目。但し、各学科・コースの「進級条件」「卒業条件」「履修モデル」等に留意すること。
	他学部他学科科目（選択科目）※	他学部他学科科目を履修・修得し、上記の「選択科目」同様の扱いとする科目。
自由科目	自由科目	修得すれば単位は修得できるが、進級・卒業所要単位数には算入されない科目。
	他学部他学科科目（自由科目）※	他学部他学科科目を履修・修得し、上記の「自由科目」同様の扱いとする科目。

※他学部他学科科目については、第2章3-4 特別な履修登録を参照してください。

●情報メディア学科（**2011年度以前カリキュラム**）では次の科目区分も定められています。

区分の詳細	内容
ユニット必修科目	ユニットを修了するうえで単位の修得が義務付けられている科目です。当該ユニットの修了を意図しない場合は、もともとの「必修科目」や「選択科目」などの分類に従って扱われます。詳細は学科の「履修モデル」の項を参照してください。

1-7 配当学年

科目は、カリキュラム上、体系的に関連づけられており、学習が効果的に行われるよう開講される学年が予め定められています。従って、学生は自分の学年に配当された科目（再履修の場合は、自分の学生より下級学年次に配当された科目）を原則履修することになります。そのため、上級学年に配当された科目は特別の場合を除いて履修できません（学年配当の原則）。

上級学年次に配当された科目の履修については、各学科の指定によります。

	建築学科	情報メディア学科	ロボット・メカトロニクス学科
履修の可否	原則履修を認めない	学科の定める条件を満たす場合履修を認める（自学科に配当された専門教育科目のみ）	学科の定める条件を満たす場合履修を認める（自学科に配当された専門教育科目のみ）
進級条件への算入（上級学年次配当科目）	—	現学年次の進級条件に算入	当該科目配当学年次の進級条件に算入

※上級学年次科目の履修方法等、詳細については掲示もしくは学科の指示に従ってください。

1-8 配当期

科目の開講される期間（配当期）により、次のように区分されます。

通年科目	1年間30週にわたって授業がおこなわれる科目
前期科目	前期半年間15週にわたって授業がおこなわれる科目
後期科目	後期半年間15週にわたって授業がおこなわれる科目
四半期（前前期、前後期、後前期、後後期）科目	1 / 4年間8週にわたって授業がおこなわれる科目
集中講義科目	夏季・冬季など休業中などの一定期間に、連続集中して授業がおこなわれる科目。集中講義科目の時間割は講義開始の数週間前に掲示で発表されます。

1-9 毎週授業時限数（コマ）

授業科目配当表上の時限（コマ）のことです。1とあれば1週間に1時限（1コマ＝90分）開講していることを意味します。

1-10 担当教員

担当教員には常勤教員と非常勤教員がいます。非常勤教員は、本学専属の教員ではありませんが、原則として、担当科目がある日・時限は大学にいる事になっています。授業担当教員に用事がある場合は、直接授業教室へ行くか、講師室（2号館3階）まで来てください。また、シラバスに連絡先が記載されている場合があります。質問したい事項が発生した場合、授業終了後に質問するなど、早めに確認を取るよう心がけてください。

2 授業について

2-1 学年と学期

授業は一定の期間継続して行われます。期間には、「学年」と「学期」という概念があります。

学年：4月1日から翌年3月31日まで

学年は次の2学期に分けられます。

前学期：4月1日から9月上旬まで

後学期：9月上旬から3月31日まで

但し、必要に応じこの期間を変更することがありますので、その年の学事日程で確認してください。

また、授業日程の年間スケジュールは、毎年掲示で確認してください。授業日数を確保するため、休日・祝祭日等に授業を行う日程を設ける場合があります。

2-2 時限と時間

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	9:00 ∩ 10:30	10:40 ∩ 12:10	13:10 ∩ 14:40	14:50 ∩ 16:20	16:30 ∩ 18:00	18:10 ∩ 19:40	19:50 ∩ 21:20

※昼間学部の正課授業は 1 時限から 5 時限、夜間学部の正課授業は 5 時限から 7 時限に実施されます。通常とは異なる時限に補講が行われる場合もあります。

※他キャンパスとの遠隔講義等においては、上記とは異なる時限で講義を行うことがあります。

2-3 時間割

(1) 時間割表

各科目は週単位で決められた「時間割」に従って行われます。

時間割は「UNIPA」で確認することが出来ます。操作方法は、UNIPA の説明ページを参照してください。

(2) 時間割の変更

曜日・時限などに変更が生じた場合、掲示により周知します。

(3) 注意事項

科目を受ける際は、授業科目配当表、時間割表などをよく確認のうえ、間違いのないように受講してください。

2-4 クラス編成と授業ガイダンス

同一科目で複数クラスがある場合、科目によっては受講クラスが指定される（クラス分けされる）ことがあります。特に英語科目や演習科目は複数クラス編成されますので、受講するクラス（担当教員や曜日など）を間違えないようシラバスや掲示、ガイダンスでの指示を確認してください。

実験・実習・実技・英語科目等の科目においては、授業開始第一週に授業ガイダンスがおこなわれる場合があります。日程等はシラバスや掲示により周知します。授業ガイダンスに出席しないと、クラス編成の都合上、履修に支障が出る場合がありますので必ず出席してください。

2-5 休講

次の場合、休講とします。休講は原則掲示にて周知します。

- (1) 授業科目担当教員にやむを得ない理由が生じた場合
- (2) 休講の掲示がなく、授業開始時間から 30 分を経過しても授業科目担当教員がやむを得ない理由で講義を開始できない場合（自然休講と呼びます）
- (3) 大学の行事を行う場合
- (4) 交通ストライキや自然災害等、不足の事態が生じた場合（第 1 章 1-3 交通機関のストライキ及び自然災害発生時等の授業措置についてを参照）

2-6 補講

授業回数が不足した場合や学習の到達目標を達成していないと教員が判断した場合など、必要に応じて補充の授業を行うことがあります。補講の有無は、原則掲示にて周知します。

2-7 欠席について

忌引、病気・怪我、課外活動などで、やむを得ず欠席した場合は、工学部・未来科学部事務部窓口または工学部・未来科学部事務部ホームページで欠席届の用紙を入手し、必要事項を記入の上、診断書等の欠席を証明できる書類を添えて授業科目担当教員に提出・説明してください（欠席日数が1週間を超える場合は、工学部・未来科学部事務部教務担当窓口へ提出）。

但し、公欠制度はありません。届出に対して大学（授業科目担当教員等）が判断をします。

正当な理由がなく、無届けで、引き続き3ヶ月以上欠席した者は除籍対象者となります。また、授業への出席状態が悪く、履修を途中で放棄したと担当教員が判断したときは、成績が「-」（放棄）となります。

2-8 出欠調査

科目の出欠調査には学生証が必要です。

2-9 期限厳守について

履修登録、レポートなどの提出物には、必ず期限が定められています。期限を守らないと申請や評価を受けられないこととなりますので、指定事項（期限や提出場所など）は必ず厳守してください。

2号館3階のレポートBOXに関しては、提出期限を過ぎてレポートBOXを撤去した後の提出は受付出来ませんので注意してください。

2-10 授業アンケートについて

授業をより良くするために「授業アンケート」を実施し、結果を公開しています。授業内容の向上につながるため、率直な意見を記載してください。但し、一時的な感情やいい加減な考えではなく、科目での様子を出来るだけ正しく伝えるようにしてください。

アンケート結果は、工学部・未来科学部事務部のwebサイト等で公開する予定です。

2-11 e-Campus 科目について

東京電機大学の4学部（工学部・未来科学部・理工学部・情報環境学部）では、平成18年度より、多彩な勉学機会を提供するため、各キャンパスをネットワークシステムで結び、遠隔講義を行っています。遠隔講義を行う科目は別途掲示で確認してください（開講しない場合もあります）。

※他学部他学科に配当されている科目の場合、他学部他学科科目の履修登録が必要です。

※授業時間は原則、実施科目のキャンパスの時間帯で行われます。

授業時間帯はキャンパス毎に異なります。時間割の重複は出来ませんので、履修する際は実施の時間帯に注意して申請してください。

2-12 学習サポートセンター

大学での学修において、基礎学力は非常に重要です。学習サポートセンターでは、基礎学力の向上を支援しています。上級学年で学習する科目の理解力（応用力）を高めると共に、高校

時代に学習した内容の理解に不安がある場合にも対応します。

教員構成 本学専任・非常勤教員のほかに、学習サポートセンター指導員らの少数による講義や質問の対応、指導を行います。

対象科目 数学・物理・英語

実施形態 ①個別指導による学習支援

②グループ学習（ミニ講義や補習などの時間割制による講義形式等）

※数学科目のミニ講義は、講義内容が授業に合わせ2週程度で変更となります(詳細は掲示で周知します)。

※英語科目のミニ講義については、掲示または英語系列のホームページを参照してください。

実施場所 学習サポートセンター 4号館3階 40313室

3 履修計画・履修届

3-1 履修計画

大学では、4年間の学習について「主体性」が求められます。次の点を考慮して履修計画を立ててください。

(1) 必要な資料を確認する

資料名	内容
学生要覧	「各学科の理念」「履修モデル」「授業科目配当表」「進級条件」「卒業条件」などの各種の決まりごとを確認する
時間割表 (UNIPA)	科目の開講曜日・時限などを確認する
シラバス (UNIPA)	科目の内容、教科書、クラス分け・ガイダンス情報などを確認する
掲示 (UNIPA)	履修登録期間・クラス分け・ガイダンス情報などを確認する

(2) 注意点

- ①卒業までの履修計画を立て、各年度の履修登録を行う。
- ②履修モデル・授業科目配当表・シラバス・初回の授業ガイダンスを参考に履修登録する。
- ③必修科目も、自分自身で履修登録する。
- ④上級年次になってから単位不足に陥ることのないよう、余裕をもって履修登録する（履修登録単位数の上限に注意する）。
- ⑤進級条件、卒業条件を満たせるよう、毎年単位修得状況に注意して履修登録する。

3-2 履修制限

4年間を通し計画的に履修し、内容を充分理解することを目的とし、履修制限が設定されています。履修する際は、この履修制限を超えて履修登録をすることはできませんので、十分注意し、しっかり履修計画を立てるようにしてください。

①履修登録時に履修できる単位数

カリキュラム年度	履修上限単位数（半期）
2012年度 カリキュラム	半期 24 単位
2011年度以前 カリキュラム	建築学科 半期 28 単位 情報メディア学科 半期 26 単位 ロボット・メカトロニクス学科 半期 26 単位

但し、自由科目、集中講義科目は履修制限には含みません。

②優秀な成績で各学期を終了した学生には、上限を超えて4単位の履修ができる制度があります。

履修制限を超えて履修登録を許可する評価基準

カリキュラム年度	履修制限を超えて履修登録を許可する評価基準
2012年度 カリキュラム	次の両基準を満たす者に対して、半期4単位まで上限単位数を超えての履修を認める。 (1) 前学期に20単位以上の履修登録を行い90%以上の単位を修得していること。 (2) GPAが3.1以上であること。
2011年度以前 カリキュラム	次の両基準を満たす者に対して、半期4単位まで上限単位数を超えての履修を認める。 (1) 前学期に22単位以上の履修登録を行い90%以上の単位を修得していること。 (2) GPAが3.0以上であること。

3-3 履修登録

履修登録は、前期に前期科目・前前期科目・前後期科目・通年科目・集中講義科目などを、後期に後期科目・後前期科目・後後期科目・集中講義科目などを、それぞれ登録します。

履修登録の種類は、主に「UNIPAで申請する科目」「専用用紙で申請する科目」などがありますが、具体的な方法や履修登録期間などの詳細は掲示にて連絡します。必ず期間内に自分で履修登録をするようにしてください。

【履修登録上の主な注意点】

重複受講の禁止	履修する科目が授業時間割上重複するときは、必修科目、選択科目を問わず、そのうちの1科目しか履修登録できません。例外については、第2章3-4特別な履修登録を参照。
変更の禁止	指定した履修の登録・修正期間後の授業科目の履修変更は認められません。
無届科目	履修登録されていない科目の受講・受験は認められません。学力考査の受験資格の付与や単位の認定もされません。
履修放棄	履修登録した科目を授業期間中に放棄（長期欠席）したり、学力考査を受験しないときは、成績評価は放棄「-」となる場合があります。

履修登録の無効化	<p>2011年度以前カリキュラム</p> <p>前後期科目および後後期科目は、それぞれ前期初めおよび後期初めに履修登録をしますが、これらの科目の履修条件の充足／未充足は前前期科目あるいは後前期科目の終了時にのみ確定する場合があります。また、履修条件が必要とされる科目の場合は、各期（前期・前前期・前後期・後期・後前期・後後期）の終了時に履修条件の充足／未充足が確定する場合があります。もしそれらの時点で履修条件が未充足と確定した場合は、当該科目は履修登録が無効となり、登録は抹消されます（履修放棄にはなりません）。</p>
----------	---

3-4 特別な履修登録

(1) UNIPA で申請するもの

履修の種類と対象	注意点など
他学部他学科科目履修	<p>自分の所属学科に配当されていない科目を一定の要件を満たすことにより、履修することができます（他学部他学科科目履修制度）。</p> <p>【以下の基準を満たす場合、申請可能】</p> <p>①自分の所属学科に配当がない（内容の類似する科目がない）</p> <p>②自分の学年次以下に配当されている科目（上級学年次科目は不可）</p> <p>③当該科目の人数に余裕がある場合</p> <p>但し、①工学部第一部（全学科）の科目は申請できません。</p> <p>②工学部第二部の電気電子工学科（NE）、機械工学科（NM）、情報通信工学科（NC）の科目は申請可能です。</p> <p>他学部他学科科目の履修を希望するときは、指定する履修登録期間に履修申請を行ってください。申請した科目の許可・不許可については、後日掲示で発表します。</p> <p>【他学部他学科科目にて修得した科目の取扱い】</p> <p>①必修科目・選択科目は、当該学生の所属するそれぞれの区分の選択科目として扱います。</p> <p>②自由科目は、自由科目として扱います。</p> <p>【区分別卒業所要単位数への算入について】</p> <p>他の大学等における授業科目の履修により本大学における授業科目の履修とみなし、修得できる単位（学則）と合わせて60単位を超えることはできません。</p>
教職課程科目	<p>教職課程を履修したいときは、履修登録期間に登録となります（詳細は教職課程要覧を参照してください）。</p> <p>1年次前期は履修できません。</p>
分野総合教育科目	<p>2011年度以前カリキュラム</p> <p>分野総合教育科目の履修を希望するときは、指定する履修登録期間に履修申請を行ってください。申請した科目の許可・不許可については、後日掲示で発表します。</p>

(2) 専用品紙で申請するもの

履修の種類と対象	注意点など
重複履修許可願	履修を希望する科目が、授業時間割上、同一曜日の同一時限に2科目以上重複している場合、その一方のみ、履修が許可されます（重複受講の禁止）。しかし、例外として重複履修が認められる場合があります、あらかじめ周知されます。希望者は左記の専用品紙にて履修申請する必要があります。
東京理工系大学による学術と教育の交流に関する協定に基づく、学生交流（単位互換）のための履修願	東京理工系大学とは、本学、芝浦工業大学、東京都市大学、工学院大学を指します。この四大学間で、平成11年4月より、学生交流（単位互換）の履修制度が実施されています。履修できる科目、履修方法、単位の認定、各判定時の科目の扱い等についての詳細は、掲示でお知らせします。
転学部・編入学・転学科・再入学者等の特別履修願	単位認定の関係上等の理由により、他の学部、学科、上級年次科目履修など、通常外の履修を希望する時は、左記の専用品紙にて履修申請することができます。左記の専用品紙に所定の事項を記入し、事前に担当教員の承認印を得た上で、用紙の提出をしてください。提出締切後、工学部・未来科学部事務部で一括して学科長の承認を受けます。許可・不許可については後日掲示により知らせます。
前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願	卒業延期者（3月末時点）が前期末卒業を希望する場合、前年度授業に出席し、試験を受け不合格であった通年科目は、必修科目・選択科目を問わずこの願を提出し、受理されることにより前期末に評価してもらえることとなります。左記の専用品紙に必要事項を明記し、事前に担当教員の承認印を得た上で、工学部・未来科学部事務部へ提出してください。提出締切後、工学部・未来科学部事務部で一括して学科長の承認を受けます。なお、詳細は第2章10前期末卒業を参照してください。

※履修登録の方法・申請時期等の詳細や修正点については、掲示にて周知します。

※「特別な履修登録」の申請を行う場合には、科目担当教員に予め相談してください。

4 学力考査

科目の履修状況を評価し、単位を認定するための材料として学力考査がおこなわれます。学力考査は筆記による学力考査（学期末・中間・毎回の授業内など）・レポート・平常点の評価などの方法でおこなわれます。いずれの形態で学力考査を実施するかについては、「学力考査実施要領」にて案内します。「学力考査実施要領」は掲示にて周知します。

4-1 学力考査

(1) 受験資格

次の4つの条件を原則全て満たしていなければなりません。但し、休学期間中は学力考査を受けることはできません。

- ①その科目の履修登録を完了していること。
- ②その科目に常時出席していること。
- ③その学期までの学費を納入していること。

- ④通年科目で、前・後期の2回学力考査がおこなわれる科目の後期学力考査を受験するには、前期学力考査を受験していること。

(2) 実施方法等

科目担当教員の指定する方法・日程・時限で実施します。

(3) 学力考査受験上の心得

①学生証の呈示

教室では、必ず学生証を常に机の上、通路側の見やすい場所に呈示してください。万一当日携帯していないときは、2号館3階にある自動証明書発行機より証明書〔仮受験票〕を出力してください。（仮受験票の発行を受ける場合は有料（1,000円）となります。）

②遅刻・退室

学力考査時の遅刻に関する取扱いについては、別途案内する掲示を確認してください。学力考査時の退室については、開始40分後から終了10分前まで可能です。

③学籍番号・氏名の記入

答案用紙に学年・学科・学籍番号・氏名を必ず記入してください。記入のない答案は無効となります。

④監督者の指示

学力考査実施時間中は、監督者が一切の権限を有します。監督者の指示に従わない者、または私語など受験態度不良の者には退室を命じることがあります。また、学力考査時間中、筆記用具・消ゴムなどの貸借は監督者の許可がなければできません。

⑤不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目の属する学力考査の全科目が無効となります。

「当該科目の属する」の範囲には、学力考査実施要領発表後に実施されるレポート科目等も含まれます。

⑥受験棄権

時間途中で受験を中止する場合でも、答案用紙に学年・学科・学籍番号・氏名を記入して提出してください。（受験した科目の答案用紙は、持ち帰る事はできません。誤って持ち帰った場合でも、不正行為とみなされる場合がありますので注意してください。）

(4) 学力考査予備日

通常の授業実施時間とは異なる日程で、学力考査を実施する日を学力考査予備日と呼びます。同日程で学力考査を実施する科目は、学力考査実施要領にて発表します。

①受験資格のほか、各種の条件ならびに遵守すべき事項は、授業中に実施する学力考査に準じます。但し、科目担当教員が指定する条件等がある場合は、それに従ってください。

②時間割・試験室などについては、掲示で発表します。学力考査予備日に実施する学力考査は、通常の授業時間とは異なりますので注意してください。

[学力考査予備日の時限と時間] (各 80 分)

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	9:30 S 10:50	11:10 S 12:30	13:30 S 14:50	15:10 S 16:30	16:45 S 18:05	18:20 S 19:40	19:55 S 21:15

※昼間学部は、原則 1 時限から 4 時限に学力考査を実施しますが、科目によっては 5 時限以降に学力考査を実施する場合があります。

4-2 追試験

急病など真にやむを得ない理由で学力考査を欠席した場合は、追試験が行われることがあります。追試験を実施するかどうかは科目担当教員に任されており、追試験願を提出しても追試験が実施されるとは限りません。できる限り指定された日の学力考査を受けてください。追試験を希望する場合は所定の手続きが必要になります。

(1) 不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目の属する追試験及び学力考査（予備日実施も含む）の全科目が無効となります。

「当該科目の属する」の範囲には、学力考査実施要領発表後に実施される学力考査科目・レポート科目等も含まれます。

(2) 追試験願の提出が認められる理由

次の 4 つの場合のみ、証明書類を添付して追試験願を提出することができます。

- ①本人の病気のため受験が全く不可能な場合。（医師の診断書）
- ② 親等以内の親族の危篤・死亡の場合。（証明する書類）
- ③交通機関停止等により登校が不可能な場合。（遅延証明書）
- ④その他、本人の責任でない真にやむを得ない事情がある場合。（理由書）

学力考査時間割の見間違い、寝坊などはやむを得ない理由とは認められません。

但し、就職試験のため学力考査を受けられなかった 4 年次生は、学科長に相談してください。

(3) 手続き

学力考査の受験資格（前記）を満たしており、上記の追試験願を提出できる理由に該当する者は、事務部が指定する提出期日までに、上記書面を添えた欠席届（追試験願）を工学部・未来科学部事務部へ提出してください。追試験の受付スケジュール・追試験の実施の有無、いつ実施するか等は後日、掲示でお知らせします。申請した科目の追試験が実施されることになった場合は、受験手続き（受験 1 科目につき 500 円必要）を行います。

4-3 中間考査

学期の途中で担当教員が随時行う学力考査です。

(1) 不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目が無効となります。

4-4 提出物の期限

科目担当教員や工学部・未来科学部事務部から学生に提出物（履修届・レポート・製図、その他）を求めるときは、必ず「期限（締切日と締切時間）」と「提出場所（方法）」が定められます。期限を過ぎた提出物は一切受け付けません。必ず、締切日・締切時間・提出場所（方法）を確認し、その条件を遵守してください。

実験レポートは実験室が管理していますので、それらに関する問い合わせ等は直接実験室に行ってください。

5 成績

担当教員が採点し、60点以上の評点を得たとき合格となり、その授業科目について定められた単位数が与えられます。これを大学側から見て「単位認定」、学生側から見て「単位修得（取得）」といいます。

単位認定は、原則としてその授業科目の履修が終わる配当期の終了時点に行われます。一旦単位を修得（取得）した授業科目は、履修の終了が認定されたことになるので、再度の履修をすることはできません。

5-1 成績評価基準

成績評価基準		
評価	評点	参考
S	90点～100点	講義・実験・実習内容を十分に理解し、自在に応用できる水準にあり、より高度な内容に進むことができる。
A	80点～89点	講義・実験・実習内容を理解し、応用できる水準にあり、より高度な内容に進むことができる。
B	70点～79点	講義・実験・実習内容を知識として身につけ、部分的ではあるが応用できる水準にある。しかし、より高度な内容に進むためには、自己学習をしておくことが望ましい。
C	60点～69点	シラバスに記載されている達成目標の最低水準に達している。しかし、習得した知識を応用し、より高度な内容に進むためには、十分な自己学習を要する。
D	60点未満	シラバスに記載の達成目標を満たしていない。
—	放棄	学習を放棄したとみなされた。

5-2 評点と評価

評点は、下記の評価におきかえられUNIPAの成績通知画面・成績証明書などに表されます。
なお、評点の通知は行ないません。

2012年度カリキュラム

評価		評点・摘要	
成績証明書用	成績通知用		
S	S	90～100点	合格 (単位修得)
A	A	80～89点	
B	B	70～79点	
C	C	60～69点	
RN	RN	認定 ※1 (資格取得・他大学等の単位を 単位認定した場合)	
RS	RS		
RA	RA		
RB	RB		
RC	RC		
	D	0～59点	不合格 (単位未修得)
	—	放棄 ※2	
※	*	履修中(現在履修中である状態)	

- ※1 評価「RN」はGPA算出の計算式に算入されませんが、評価「RS～RC」は計算式に算入されます。詳細は第2章5-4成績順位を参照してください。
- ※2 履修登録した授業科目を受験しなかった場合や、通常の授業への出席状態が悪く担当教員が履修を途中で放棄したと判断した場合は、「—」放棄となります。

2011年度以前カリキュラム

評価		評点・摘要	
成績証明書用	成績通知書用		
S	S	90～100点	合格 (単位修得)
A	A	80～89点	
B	B	70～79点	
C	C	60～69点	
RN	RN	認定 ※1 (資格取得・他大学等の単位を 単位認定した場合)	
RS	RS		
RA	RA		
RB	RB		
RC	RC		
	D1	50～59点	不合格 (単位未修得)
	D2	0～49点	
	—	放棄 ※2	
※	*	履修中(現在履修中である状態)	

※ 1 評価「RN」は GPA 算出の計算式に算入されませんが、評価「RS～RC」は計算式に算入されます。詳細は第 2 章 5-4 成績順位を参照してください。

※ 2 履修登録した授業科目を受験しなかった場合や、通常の授業への出席状態が悪く担当教員が履修を途中で放棄したと判断した場合は、「－」放棄となります。

5-3 成績の通知

前年度末までの成績の通知は 3 月に、前期末までの成績通知は 9 月に行います。学生アドバイザーや各学科長から成績・履修相談を同時に行う場合もあります。

なお、学期の途中で担当教員から採点報告があっても、個々の発表は行いません。

5-4 成績順位

総合的成績評価において、GPA (Grade Point Average) を基本とします。

GPA とは、科目を履修して最終的に与えられた S・A・B・C・D・－・RS・RA・RB・RC の評価 (Grade) に 4～0 のポイント (Point) を配当し、それに単位数を掛け、取得したポイントの合計と単位数をもとに算出する平均値 (Average) です。

そのポイントと計算式は次のとおりで、GPA の最高値は “4” となり、最高値に近いほど評価が高くなります。

$$\text{GPA} = (\text{単位加重 GP の総和}) \div (\text{履修登録単位の総和})$$

※単位加重 GP の総和＝

$$(\text{S} \cdot \text{RS 評価の単位数}) \times 4 + (\text{A} \cdot \text{RA 評価の単位数}) \times 3 + (\text{B} \cdot \text{RB 評価の単位数}) \times 2 + (\text{C} \cdot \text{RC 評価の単位数}) \times 1$$

※単位加重 GP (Grade Point) とは、取得した各科目の評価 (S・A・B・C・D・－・RS・RA・RB・RC) に次の各科目の評価に指数化するグレートポイントを掛けた数値です。

2012 年度カリキュラム

ポイント	評価	評点 (100 点法)
4	S	90～100
3	A	80～89
2	B	70～79
1	C	60～69
0	D	0～59
0	－	放棄
4	RS	資格取得等による単位認定
3	RA	
2	RB	
1	RC	

2011 年度以前カリキュラム

ポイント	評価	評点 (100 点法)
4	S	90～100
3	A	80～89
2	B	70～79
1	C	60～69
0	D1	50～59
0	D2	0～49
0	－	放棄
4	RS	資格取得等による単位認定
3	RA	
2	RB	
1	RC	

- ・総和には自由科目及び RN 評価の科目を含まない。
- ・履修登録単位の総和に、履修中の単位は含まれない。
- ・履修登録単位の総和は、成績通知に記載の科目を対象とする。
- ・GPA の値は小数点第 4 位を四捨五入した値となります。
- ・用途

学部内における判定等（早期卒業、履修上限を超えての履修登録を許可する評価基準、その他）

※ D 評価の科目及び放棄科目は 0 ポイントとなるため、放棄しない計画的な履修が結果的に GPA を上げることとなります。

5-5 単位認定

(1) 入学前に修得した単位の認定

大学または短期大学において本学部に入學する前に修得した授業科目の単位（科目等履修生によって修得した単位を含む）のうち教授会が教育上有益と認めたものは、入学後、本学部において修得したものとして（編入学・転入学等の場合を除く）60 単位を限度に単位を認定されることがあります。

編入学者および転学部・転学科者が既修得単位を本学部における単位として認定を希望するときは、掲示により指定された期日までに、単位認定願を工学部・未来科学部事務局（教務担当）へ提出してください。その中から、本学部所定の基準に対応する科目について単位認定を行いません。

単位認定科目は、「RS・RA・RB・RC・RN」で表示されます。但し、他大学で修得した単位は、教育職員免許状を取得しようとするとき「教科に関する科目」の単位には 20 単位までしか算入されません（何ら教職課程認定を受けていない大学・短期大学から編入学した学生の場合）ので、認定を希望しない者はその旨を工学部・未来科学部事務局（教務担当）へ申し出てください。

(2) 資格取得による単位の認定

特定の資格取得者に対して所属学科の科目の単位を認定する場合があります。詳細は各学科の「履修モデル」を参照してください。

6 再履修

履修した授業科目の単位を修得できなかったときは、その科目の履修をもう一度はじめてからやり直す（再履修）こととなります。その際、次の点に留意してください。

- ①必修科目（択一必修科目を含む）の単位を修得できなかったときは、必ず再履修する必要があります。
- ②選択科目の単位を修得できなかったときに再履修するかどうかは、各自の意志にまかされますが、卒業に必要な単位数は確保するよう再履修科目を決めてください。
- ③再履修科目の配当条件に変更があったときは、別途、周知される再履修方法などを参照し、単位未修得科目に対応する授業科目を誤りなく再履修してください。

- ④再履修する授業科目の単位数が変更になった場合でも、再履修の結果合格したときは自分のカリキュラム年度配当科目の単位数が与えられます。
- ⑤再履修科目の担当教員が前年度と変更になった場合は、当該年度担当教員のもとで再履修してください。
- ⑥再履修科目と自分の学年次配当科目とが授業時間割上重複した場合、原則どちらか一方の科目しか履修することはできません（重複受講の禁止）。（第2章3-3履修登録を参照）
- ⑦再履修科目の履修登録・学力考査などについては、通常の履修科目の場合と同じです。

7 卒業までの学修

自己の進路と学習の進め方については、学科で実施する履修のガイダンスに必ず出席し、その内容を十分理解して学習に励み、間違いなく所期の目標を達成するようにしてください。また、高等学校までと異なり、自己責任と自己管理が一層重要になってきていることを自覚し学修してください。

原則以下の条件を満たした場合、上級学年次へ進級することになります。

- ①必要な学費およびその他の費用を納入していること。
- ②同一学年に合算して12ヶ月以上在学すること。ただし、休学期間は在学期間に含まない。
- ③上級学年次に進学するための条件がある場合（第2章8-2 1年次から2年次への進級条件、8-4 3年次から4年次への進級条件を参照）は、その条件を満たしていること。

※3月の判定時に休学中の者も、①、②、③を満たしていれば上級学年次へ進級することになります。

8 進級と留年

同一学年に合算して12ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に1年次から2年次および3年次から4年次に進級する際に進級制度があります。なお、進級判定時に休学中の者も対象となります。留年もしくは卒業延期となった場合、入学した年度のカリキュラム（進級・卒業条件を含む）が適用され、留年により変更しません。

なお、転学部・転入学・転学科・再入学者等は、正規に進級してきた学年（1年次の場合は新入生）と同一のカリキュラムが適用されます。

同一学年に通算して4年の在学をこえてなお進級できない者は除籍となります。進級条件は次のとおりです。履修の際にはこれらの条件もしっかりと把握し履修登録するようにしてください。

8-1 進級判定時期

- ・1年次から2年次へ進級するとき
- ・3年次から4年次へ進級するとき

8-2 1年次から2年次への進級条件

カリキュラム年度	学科	進級条件
2012年度 カリキュラム	建築学科	1年次終了時に28単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
	情報メディア学科	1年次終了時に24単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
	ロボット・メカトロニクス学科	1年次終了時に30単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
2011年度以前 カリキュラム	建築学科	① 1年次終了時に32単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ② 「設計・パフォーマンスⅡ」を単位修得していること。
	情報メディア学科	1年次終了時に20単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
	ロボット・メカトロニクス学科	1年次終了時に30単位以上修得していること（自由科目は含まない）。

8-3 2年次から3年次への進級

2年次から3年次への成績による進級条件はありません。（ただし、前記の学籍及び学費の条件を満たす必要があります。）

成績による進級条件がない場合であっても、後記の3年次から4年次への進級条件を満たすように履修計画をたて、確実に学修を進める必要があります。

8-4 3年次から4年次への進級条件

カリキュラム年度	学科	進級条件
2012年度 カリキュラム	建築学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで 110 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③「建築資格講座Ⅱ」を単位修得していること。
	情報メディア学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで 106 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③3年次までに配当されている必修科目を全て単位修得していること。
	ロボット・メカトロニクス学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで 106 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③3年次までに配当されている必修科目 21 科目 44 単位をすべて単位修得していること。 ④進級コード R1 の専門選択科目 16 科目 40 単位中 20 単位以上修得していること。※別表 1【進級コード R1】 ⑤進級コード R2 の専門選択科目 17 科目 34 単位中 10 単位以上修得していること。※別表 2【進級コード R2】
2011年度以前 カリキュラム	建築学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで 110 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③「設計・パフォーマンスⅥ」を単位修得していること。
	情報メディア学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで 110 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③3年次までに配当されている必修科目を全て単位修得していること。
	ロボット・メカトロニクス学科	※別表 3 を参照

※別表 1 【進級コード R1】

(科目名のあとの丸数字は単位数を表す)

メカトロニクス基礎力学および演習 I ③ メカトロニクス基礎力学および演習 II ③ □ ボット運動学② 設計製図 I ④ プログラム基礎 II ② プログラム基礎 III ② 基礎電気 工学② 電気回路② システムモデリングおよび演習④ 制御工学および演習④ 集合 と論理② 離散数学② ベクトル解析② フーリエ解析② 複素解析学 I ② 確率・統 計 I ②

※別表 2 【進級コード R2】

(科目名のあとの丸数字は単位数を表す)

材料力学および演習② 加工学② 熱・流体力学② アルゴリズムとデータ構造② 情 報理論② オペレーティングシステム② 電子工学② デジタル回路② 信号処理② 制御系設計② 計測工学② 現代制御理論② 数値解析② 最適化法② メカトロニク スのための数学および演習② 複素解析学 II ② 確率・統計 II ②

※別表 3 2011年度以前カリキュラムのロボット・メカトロニクス学科進級条件 (科目名のあとの丸数字は単位数を表す)

科目	コード	条件
人間科学科目		10 単位以上修得のこと。
英語科目		4 単位以上修得のこと (自由科目は含まない)。
専門教育科目	P	3 年次までに配当されている専門必修科目 30 科目 60 単位を全て修得のこ と (早期卒業対象の特別研究 I・II を除く)。 3 年次までに配当されている専門選択科目から 30 単位以上修得のこと。 ただし以下の条件を満たすこと。
	R 1	次の 10 科目 20 単位から 12 単位以上修得のこと。 科学技術のための基礎数学② 科学技術のための数学② 基礎電気工学② システムモデリング② システムアナログ② 制御工学② 数値解析② シ ステム制御理論② ロボメカのための数学② 事象駆動システム②
	R 2	次の 10 科目 20 単位から 12 単位以上修得のこと。 科学技術のための基礎数学② 科学技術のための数学② 基礎電気工学② 電気回路② 計測工学② デジタル回路② 電子工学② 情報理論② アル ゴリズムとデータ構造② デジタル情報②
	R 3	次の 9 科目 18 単位から 10 単位以上修得のこと。 科学技術のための基礎数学② 科学技術のための数学② 基礎電気工学② ロボット運動学② 材料加工学 I ② ロボット機構学② 材料力学② □ ボット制御学② 材料加工学 II ②
	R 4	次の 6 科目 12 単位から 4 単位以上修得のこと。 ベクトル解析② フーリエ解析② 確率・統計 I ② 確率・統計 II ② 複素 解析学 I ② 複素解析学 II ②
総修得単位数が 110 単位以上であること (自由科目は含まない)。		

9 卒業

4年次に合算して12ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に卒業判定を実施します。判定時に休学中の者は対象としません。

なお、本学部を卒業するためには、次のすべての条件をみたすことが必要です。

9-1 卒業条件

カリキュラム年度	卒業条件
<p>2012年度 カリキュラム</p>	<p>①卒業するために必要な単位数（卒業所要単位数）を修得していること。 ②自分の所属する学科に配当されている必修科目の単位の全部を修得していること。※1 ※2 ③合計4年以上（8年以内）在学していること。※3 ④卒業までに必要な学費及びその他の費用の全額を納入していること。 ⑤卒業判定時に休学していないこと。</p> <p>※1 建築学科では、必修科目の他に選択科目の「特別研究」、「特別設計」の両方またはいずれかを履修し、修得する必要があることに注意してください。 ※2 情報メディア学科では、2ユニットの修了が「卒業研究 A」の合格必要条件となっていることに注意してください。詳しくは学科の「履修モデル」を参照してください。 ※3 在学期間が4年未満での卒業については第2章9-5 3年間または3.5年間での卒業（早期卒業）を参照してください。</p>
<p>2011年度以前 カリキュラム</p>	<p>①卒業するために必要な単位数（卒業所要単位数）を修得していること。 ②自分の所属する学科に配当されている必修科目の単位の全部を修得していること。※1 ③合計4年以上（8年以内）在学していること。※2 ④卒業までに必要な学費及びその他の費用の全額を納入していること。 ⑤卒業判定時に休学していないこと。</p> <p>※1 情報メディア学科では、2ユニットの修了が択一必修科目「卒業研究 A / B / C」の合格必要条件となっていることに注意してください。詳しくは学科の「履修モデル」を参照してください。 ※2 在学期間が4年未満での卒業については第2章9-5 3年間または3.5年間での卒業（早期卒業）を参照してください。</p>

9-2 区分別卒業所要単位数

2012年度カリキュラム

	区分	単位数	
		建築学科	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科
共通教育科目	人間科学科目 スキル・キャリア コミュニケーション スポーツ・健康 人間理解 社会理解 異文化理解 技術者教養	16 単位 (「技術者教養」科目 2 単位を含む)	
	英語科目	6 単位	
専門教育科目	基礎共通科目 専門科目 学部キャリア科目	96 単位	88 単位
	任意に選択し、修得した科目	10 単位	14 単位
	合計	128 単位	124 単位

特色ある教育を推進するために、卒業所要単位の中に学生の個性に合わせて選択できる科目が設けられています。これが、上記の表中の「任意に選択し、修得した科目」で、修得した場合は卒業所要単位に建築学科は 10 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 14 単位まで算入できます。この「任意に選択し、修得した科目」とは次の科目をいいます。

人間科学科目から 16 単位、英語科目から 6 単位、基礎共通科目・専門科目・学部キャリア科目から建築学科は 96 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 88 単位を超えて修得した単位。

また、他学部・他学科科目を履修し、単位修得した科目は表中のそれぞれの区分の選択科目の単位として取扱われます。(但し、卒業所要単位数として算入できる単位は、他の大学等における授業科目の履修等(学則)と合わせて 60 単位を超えることはできません。)

2011 年度以前カリキュラム

	区分	単位数	
		建築学科	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科
共通教育科目	人間科学科目 基礎科目 人文社会科学科目 技術者教養 (STS) 科目	16 単位 (STS 科目 4 単位を含む)	
	英語科目	6 単位	
専門教育科目	基礎共通科目 専門科目 学部キャリア科目 (※)	104 単位	92 単位
	任意に選択し、修得した科目	10 単位	14 単位
	合計	136 単位	128 単位

(※) 2011 年度入学生より新規追加

特色ある教育を推進するために、卒業所要単位の中に学生の個性に合わせて選択できる科目が設けられています。これが、上記の表中の「任意に選択し、修得した科目」で、修得した場合は卒業所要単位に建築学科は 10 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 14 単位まで算入できます。この「任意に選択し、修得した科目」とは次の科目をいいます。

人間科学科目から 16 単位、英語科目から 6 単位、基礎共通科目・専門科目から建築学科は 104 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 92 単位を超えて修得した単位。

また、他学部・他学科科目を履修し、単位修得した科目は表中のそれぞれの区分の選択科目の単位として取扱われます。(但し、卒業所要単位数として算入できる単位は、他の大学等における授業科目の履修等(学則)と合わせて 60 単位を超えることはできません。)

9-3 卒業見込証明書

進級条件を満たし、4 年次に進んだ学生に卒業見込証明書を発行します。

卒業見込証明書は 4 月上旬より発行します。

卒業見込証明書発行日については、掲示にて周知します。

※休学中は卒業見込証明書が発行されません。必要に応じ、学科に相談してください。

9-4 学位記

本学部を卒業すると、学士(工学)の学位が授与され、卒業時に学位記を授与します。本学の場合、学位記が卒業証書を兼ねますので、いわゆる卒業証書と称するものは授与しません。

一度発行した学位記は再発行しませんので、大切に保管してください。

9-5 3年間または3.5年間での卒業（早期卒業）

大学院への進学を前提としているきわめて成績優秀な学生は、以下の条件により3年間もしくは3.5年間の在学期間で卒業することが出来ます。希望する場合は、学科長に相談してください。

但し、3年次編入学者は早期卒業の対象となりません。

また、**2012年度カリキュラム**の建築学科は3年間での卒業のみとなり、**2011年度以前カリキュラム**の建築学科は早期卒業の対象となりません。

9-6 早期卒業着手条件

早期卒業に着手するためには、次の全ての条件を満たす必要があります。

※ただし、対象となる科目には、自由科目および工学部第二部の科目は含めません。

●各学科が定めた早期卒業に着手するための卒業条件

カリキュラム年度	学科	早期卒業着手条件
2012年度 カリキュラム	建築学科	① 2年次後期終了時に94単位以上修得していること。 ② 2年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。
	情報メディア学科	● 3年間での卒業の場合 ① 2年次後期終了時に86単位以上修得していること。 ② 2年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ● 3.5年間での卒業の場合 ① 3年次前期終了時に90単位以上修得していること。 ② 3年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。
	ロボット・メカトロニクス学科	2年次後期終了時（3年間での卒業の場合）もしくは3年次前期終了時（3.5年間での卒業の場合）のGPAが3.2以上であること。
2011年度以前 カリキュラム	情報メディア学科	● 3年間での卒業の場合 ① 2年次後期終了時に88単位以上修得していること。 ② 2年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ● 3.5年間での卒業の場合 ① 3年次前期終了時に92単位以上修得していること。 ② 3年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。
	ロボット・メカトロニクス学科	早期卒業の着手条件は設けない。

9-7 早期卒業条件

3年間または3.5年間の在学期間で卒業するためには、次の全ての条件を満たす必要があります。

ただし、対象となる科目には、自由科目および工学部第二部の科目は含めません。

- ①本人が3年次後期終了時もしくは4年次前期終了時に卒業することを希望していること。ただし、大学院進学を前提とする。
- ②在学期間が3年以上の学生であること。
- ③各学科に配当された必修科目の単位を全て修得していること。
- ④各学科が定める卒業所要単位数以上を修得済みであること。
- ⑤3年次から4年次への進級条件を満たしていること。
- ⑥学科長および学部長が早期卒業に相応しいと判断した者。
- ⑦各学科が定める次の条件を満たしていること。

●各学科が定める早期卒業のための卒業条件

カリキュラム年度	学科	早期卒業条件
2012年度 カリキュラム	建築学科	①3年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ②特別研究、特別設計のいずれかの単位を修得していること。
	情報メディア学科	●3年間で卒業の場合 ①3年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ②卒業研究Bの単位を修得していること。 ●3.5年間で卒業の場合 ①4年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。 ②卒業研究Bの単位を修得していること。
	ロボット・メカトロニクス学科	早期卒業判定時（3年次後期終了時および4年次前期終了時）のGPAが3.4以上であること。
2011年度以前 カリキュラム	情報メディア学科	●3年間で卒業の場合 3年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ●3.5年間で卒業の場合 4年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。
	ロボット・メカトロニクス学科	①早期卒業判定時（3年次後期終了時および4年次前期終了時）のGPAが3.4以上であること。 ②特別研究I・IIの単位を修得していること。

10 前期末卒業（卒業条件を満たさず卒業延期になった者対象）

10-1 前期末卒業の条件

4年次に合算して12ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に前期末卒業判定を実施します。判定時に休学中の者は対象としません。卒業所要単位数など所定の卒業条件を満たしたときは、前期末卒業（9月10日付）となります。

（所定の卒業条件）

卒業条件は、入学した年度に学生に提示している卒業条件を適用する。

10-2 前期末卒業の希望確認（意志確認）の手続きについて

- (1) 年度末卒業判定が行なわれ卒業延期者が確定した3月の成績通知後に、学科長または学生アドバイザーから卒業延期者に対し「前期末卒業判定」が説明されます。

⇒卒業延期者は、UNIPA【個人別情報】に表示されている連絡先に誤りがないか確認してください。

(後日、前期末卒業に関する連絡を学科から行う場合に使用します。)

- (2) 9月上旬の成績通知後に、「前期末卒業の対象者(前記の卒業条件を満たした者)」に対し、前期末卒業の希望確認(意志確認)を行います。卒業時期の確認手続きは以下によります。

(卒業時期の確認手続) 時期：9月上旬

○対象学生への卒業時期の意志確認	前期成績が確定後、前期末卒業判定が実施され、判定結果が学科長へ通知されます。その結果を受け、学科長又は学生アドバイザーが、前期末卒業条件を満たした対象者全員に、前期末卒業(9月10日付卒業)とするか、または、翌年3月卒業とするかの卒業時期の希望を確認します。
○卒業時期の確定	対象学生への意志確認 ①対象学生の意志確認ができ学生が前期末卒業を希望する場合、または、対象学生の意志確認が出来ない(連絡がつかない)場合 ⇒9月10日付で卒業となります。 ②対象学生より「翌年3月に卒業したい」旨の申請があった場合、定められた期間内に「翌年3月に卒業を希望する」旨の申請書(対象学生及び保証人の署名・捺印が必要)を学部長宛に提出する事により、翌年3月に卒業時期が変更となります。 ※後期も在籍となることから学費の支払い義務が発生します。保証人と充分相談し、希望を決定してください。

10-3 前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願

前年度卒業延期者が通年科目を再履修して前期末卒業を希望する場合は、その科目の履修届を提出するだけでなく、「前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願」を必ず提出しなければなりません。(用紙は工学部・未来科学部事務部にあります。)

(手続き)

卒業延期者のうち、通年科目を前年度までに少なくとも1年間履修し単位未修得の者で、前期末卒業の可能性があると本人が判断し前期末卒業を希望する者は、前期履修登録期間に「前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願」を1科目につき1部ずつ提出してください。

①通年科目であれば必修科目・選択科目を問いません。

②後期科目はこの手続きの対象外です。

※修得できた科目の単位は、前期末卒業できた場合、また、前期末卒業できずに翌年3月に卒業する場合にも、修得科目として、卒業所要単位数に算入されます。

学生ポータルサイト 「DENDAI – UNIPA」

操作マニュアル

（「シラバス閲覧」「履修登録」
「授業資料のアップ・ダウンロード」「成績確認」等）

2013年4月版

学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」

目次

■ 学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」	
1. 学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」について	37
2. 「DENDAI – UNIPA」閲覧可能パソコンについて	37
■ DENDAI – UNIPA へのアクセス・ログイン	
1. DENDAI – UNIPA へのアクセス・ログイン方法	38
2. DENDAI – UNIPA の画面構成	40
3. 注意事項	41
■ 掲示情報の確認	
1. 掲示について	43
■ シラバスの閲覧	
1. オンラインシラバスについて	44
2. シラバスの閲覧方法	45
3. 他画面からのシラバス参照	47
■ Webによる履修登録方法	
0. 全体の流れ	48
1. DENDAI – UNIPA へのログイン	49
2. 履修希望科目の選択	50
3. エラーチェック	52
4. 履修登録の確定	54
5. 進級・卒業見込判定	55
6. 履修登録科目の確認方法	56
7. 履修登録に関するFAQ	57
■ クラスプロフィール	
1. クラスプロフィールについて	59
2. 授業資料のダウンロード方法	61
3. 授業課題の提出方法	62
■ 出席確認	
1. 出席情報の確認について	64
■ 成績確認	
1. 成績の確認について	66
■ その他の主な機能	
1. 個人別情報について	67
2. メール設定について	68
3. 時間割について	69

学生ポータルサイト 「DENDAI – UNIPA」

1. 学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」について

学生ポータルサイト DENDAI – UNIPA は、履修登録・時間割確認・シラバス閲覧・掲示確認・成績照会・課題提出など、様々な機能を使用することができるシステムです。

本学で学生生活を送る上で必ず使用することになります。

また、個別の学生呼出しなども「DENDAI – UNIPA」上で行いますので、1日に複数回、確認するよう心がけてください。

2. 「DENDAI – UNIPA」閲覧可能パソコンについて

「DENDAI – UNIPA」は、インターネットに接続可能なパソコンであれば、学内のPCやキヨスク端末はもとより自宅や下宿などからも自由に閲覧することができます。

動作環境について

「DENDAI – UNIPA」を使用するには、Internet Explorer7以降、Firefox3.6以降のWWWブラウザが必要となります。

本文中に記載の「画面のデザイン」や「メニュー（機能）構成」等は今後変更等になる場合があります。

DENDAI – UNIPA へのアクセス・ログイン

1. DENDAI – UNIPA へのアクセス・ログイン方法

- 1 学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」へアクセスします。

<https://portal.sa.dendai.ac.jp>

- 2 ログイン画面が開きます。

- 3 User ID に「学籍番号」を入力、PassWord に「パスワード」を入力し、

ログイン

をクリックします。(図 1)



- ※ ログインには本学のネットワークを利用するための ID (学籍番号) およびパスワードが必要です (例: 13ee999 ※学籍番号の英字部分は小文字で入力してください。)
- ※ 新入生への初期パスワードは入学時にお知らせいたします。
- ※ 「パスワード」は定期的な変更が義務づけられています。変更しないままにしておくで履修登録などの重要な手続きに支障をきたす可能性がありますので十分に注意してください。

TDU 東京電機大学
学生ポータルサイト

ログイン

User ID 13eeXXX

PassWord ●●●●

ログイン

ゲストユーザー

ログインにはユーザID(学籍番号)と共通パスワードが必要です。
(学籍番号の英文字は小文字で入力してください。)

※Internet Explorer7以上、Firefox3.6以上で動作確認を行っております。
※携帯電話には対応しておりません。

毎日、下記時間にシステムメンテナンスを行いますので、
この間はシステムをご利用いただけません。

停止時間:深夜3時00分～5時30分

この時間内はシステムをご利用できなくなりますのでご注意ください。
履修登録を行なうにあたっては、特に注意してください。

図 1 ログイン画面

4 入力した学籍番号やパスワードに誤りがある場合は、エラーメッセージが表示されま
ず。(図 2)

正しく入力しているにもかかわらず、エラーメッセージが出る場合は総合メディアセ
ンターまたは工学部・未来科学部事務部に申し出てください。



図 2 ログインエラー表示

2. DENDAI – UNIPA の画面構成

① メニュー

各種機能のメニューです。項目は変更する場合があります。

② トップページ切り替えタブ

トップページの画面を切り替えることができます。

ポータル お知らせ・スケジュール・授業情報などが表示される画面です。

クラスプロファイル 授業ごとに様々な機能を使用することができます。

マイステップ 自分自身の学習記録を記録することができます。(教職カルテなど)

③ お知らせ

各種掲示情報や学生呼出、授業の休講・補講・教室変更、ガイダンス情報、履修に関する連絡等、大切な情報が表示されます。

④ スケジュール・授業情報

大学側があらかじめ登録した学内のイベント・授業情報等のスケジュールが確認できます。

また、**スケジュール** ボタンから自分の予定を登録することもできます。

⑤ お気に入り

大学側があらかじめ設定したリンクのほか、**編集** ボタンから自分のお気に入りの Web サイトの登録ができます。

The screenshot shows the TDU student portal homepage. At the top, there is a header with the TDU logo and navigation links: 個人情報, 履修登録, 時間割, 授業, 成績関連, アンケート, ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト. Below the header is a main navigation bar with three tabs: **ポータル**, **クラスプロファイル**, and **マイステップ**. The main content area is divided into several sections. On the left, there is a calendar for November 2011, with the 29th and 30th highlighted. Below the calendar are sections for '授業情報' (Class Information) and 'お知らせタイトル' (Notice Title). On the right, there are several notice boxes with titles like '重要な連絡' (Important Notice), '授業に関するお知らせ' (Notice about classes), and '休講・補講・教室変更に関するお知らせ' (Notice about cancellations, supplementary lectures, and classroom changes). Callouts from the text above point to these features: ② points to the top navigation tabs, ④-1 points to the calendar, ④-2 points to the class information section, ⑤ points to the notice title section, ① points to the top navigation links, and ③ points to the notice boxes.

図3 トップページ（ポータル画面）

3. 注意事項

(1) セッションタイムアウト

ログインしてから 30 分操作がない場合、自動的に接続が切断され、再度ログインが必要になります。履修登録の際は特にご注意ください。



図 4 セッションタイムアウト

(2) システムメンテナンスによる停止

毎日午前 3 : 00 から 5 : 30 に、システムメンテナンスを行います。この時間帯は「DENDAI - UNIPA」を使用することはできません。その他、臨時メンテナンスを行う場合があります。

(3) 前の画面に戻る

前の画面に戻る場合、必ず「DENDAI - UNIPA」の画面内の **戻る** ボタンを使用してください。

画面内に **戻る** ボタンがない場合は、画面上部の **ホーム** タブや、各種メニュータブから元の機能に戻ってください。

ブラウザの「戻る」機能では、ブラウザによっては「Web ページの有効期限が切れています」などが表示される場合があります。

(4) ポップアップブロック

DENDAI – UNIPA では、ポップアップ画面として表示される画面がいくつかあります。操作方法どおりに操作しても次の画面が表示されない場合、ブラウザのポップアップブロック機能が働いている可能性があります。

そのような場合、ポップアップブロック機能を解除する必要があります。お使いのブラウザによって設定方法が異なりますので、ログイン画面下部の「ポップアップブロックについて」を参照してください。



The image shows a screenshot of the TDU (Tokai University) student portal login page. At the top, the TDU logo and '東京電機大学 学生ポータルサイト' are displayed. Below is a login form with fields for 'User ID' and 'PassWord', a 'ログイン' button, and a 'ゲストユーザー' link. A large text box below the form contains instructions and a notice about pop-up blockers. The notice, titled '【ポップアップブロックについて】', states that the portal uses pop-ups and that the blocker might prevent the page from loading. It provides instructions to disable the blocker for Internet Explorer, Firefox, and Google Chrome. This notice is circled in black.

TDU 東京電機大学
学生ポータルサイト

ログイン

User ID

PassWord

ログイン

👤 ゲストユーザー

ログインにはユーザID(学籍番号)と共通パスワードが必要です。
(学籍番号の英文字は小文字で入力してください)

※Internet Explorer7以上、Firefox3.6以上で動作確認を行っております。
※携帯電話には対応していません。

毎日、下記時間にシステムメンテナンスを行いますので、
この間は、システムをご利用いただけません。

停止時間：深夜3時00分～5時30分

【ポップアップブロックについて】
ポータルサイト内では、ポップアップを多用しています。
ポップアップブロック機能が有効な場合、ページが開かない場合がございますので、
以下の方法で解除を行ってください。

[Internet Explorerの場合](#)

[Firefoxの場合](#)

[Googleツールバーを利用している場合](#)

掲示情報の確認

1. 掲示について

1. 掲示について

東京千住キャンパスでは、皆さんへの連絡事項を行う「掲示」をUNIPA上で行います。掲示には、学生個人宛のもの、該当する学年・学科宛のもの、対象科目を限定したものなどの種類がありますが、全てあなたに関係のあるものが配信されますので、一日に複数回UNIPAを確認してください。

The screenshot shows the UNIPA notification interface. At the top, there are tabs for '個人別情報', '時間割', '授業', '成績関連', and 'アンケート/0&A'. Below these are 'ポータル', 'クラスプロフィール', and 'マイステップ'. A calendar for December 2012 is visible on the left. The main content area is divided into several sections, each with a '全表示' (Show All) button:

- 重要な連絡**: 呼び出しも含む重要なお知らせです。必ず確認してください。 Includes links for UNIPA system suspension, exam schedules, and attendance data updates.
- 授業に関するお知らせ**: 授業や履修に関するお知らせです。 Includes a link for classroom information.
- 休講・補講連絡**: 休講・補講・教室変更に関するお知らせです。 Includes a link for career/job information.
- キャリア・就職関連情報**: ガイダンスや企業セミナーに関するお知らせです。 Includes a link for career/job information.
- 学生厚生からのお知らせ**: お知らせはありません。

掲示情報画面



- ※ 各種手続き等の方法や期間などが掲示されますので、毎日必ず確認してください。
- ※ 大学からメールや電話で連絡が届く場合もありますが、原則的にはUNIPAでの掲示にて各種連絡を行います。

シラバスの閲覧

1. オンラインシラバスについて

1. オンラインシラバスについて

オンラインシラバスとは、担当教員が作成する講義要目（シラバス）を、インターネットを介して閲覧することができるシステムです。

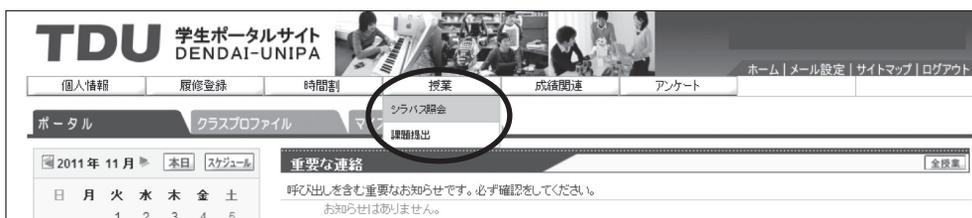
シラバスには、科目名、単位数、担当教員名、目的概要、テーマ・内容、評価方法、教科書名、質問への対応（オフィスアワー）、クラス分け情報、ガイダンス情報 等が掲載されています。授業科目の概要をつかんだ上で履修計画を作成するためによく確認してください。授業の進度に応じて、シラバス内容を更新する場合もあるので、常時確認してください。

2. シラバスの閲覧方法

- 1 学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」へアクセス、ログインします。

<https://portal.sa.dendai.ac.jp>

- 2 画面上部のメニューから **授業** ⇒ **シラバス照会** をクリックしてください。



- 3 シラバス検索画面が開きます。

科目名称／教員氏名／曜日時限／キーワード（シラバスの全文検索ができます）の一部または全部を入力し、**検索** をクリックしてください。

■ シラバス検索	
管理部署	全て対象 ▼
開講	2012 年度 全て対象 ▼
科目授業種別	全て対象 ▼
科目名称	<input type="text"/> (部分一致:カナ、英語含む)
教員氏名	<input type="text"/> (部分一致:カナ、英語含む)
学科組織	EEコースなし ▼
開講キャンパス	全て対象 ▼
曜日時限	全て対象 ▼ 全て対象 ▼ <input type="checkbox"/> 集中講義など
キーワード	<input type="text"/> (部分一致)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="検索"/>	



- ※ シラバス検索画面の【学科組織】欄にはログインしている学生の所属が自動的に選択されます。
他学部や大学院のシラバスを検索したい場合などは、【学科組織】欄を変更してから検索してください。
- ※ うまく検索結果が表示されない場合、【教員氏名】などの語句を全角カタカナで入力することを推奨します（漢字の字体の違いによる検索漏れを回避できます）。

4 検索結果画面に科目が表示されますので、目的の科目名をクリックしてください。

シラバス検索 > 検索結果 戻る

検索条件 開講:2012年度
教員氏名:フジタ サトシ

開講曜日	科目名	教員氏名	開講区分	学年	開講学期	単位数
水3	1102861001 機械系入門	藤田 聡	週間授業		2012前期	2.0単位
水6	11N1281001 振動工学II	藤田 聡	週間授業		2012前期	2.0単位
木3	1102831002 機械・構造物のダイナミクス	藤田 聡	週間授業		2012前期	2.0単位
木3 木4	1104451001 振動学および演習	藤田 聡	隔週偶数 週間授業		2012前期	3.0単位
土5	11N2031001 東京電機大学で学ぶ	藤田 聡	週間授業		2012前期	2.0単位
	12M082H012 機械工学グループ輪講I	藤田 聡	集中講義		2012前期 2012後期	2.0単位
	12M085C001 機械工学特別演習II	藤田 聡	集中講義		2012前期	2.0単位
	12M086H012 機械工学特別研究I	藤田 聡	集中講義		2012前期	6.0単位
月4	12M1622001 振動工学特論	藤田 聡	週間授業		2012後期	2.0単位
月6 金7	11N1272001 振動工学および演習	藤田 聡	週間授業		2012後期	3.0単位
木3	1102062001 応用振動学	藤田 聡	週間授業		2012後期	2.0単位
木4	1102922002 機械工学輪講	藤田 聡	週間授業		2012後期	2.0単位
	110489C009 卒業研究	藤田 聡	集中講義		2012後期	6.0単位
	11N1403002 卒業研究B	藤田 聡	集中講義		2012後期	6.0単位

14件 < < 1/1 ページ > > 1

5 選択した科目のシラバスが表示されます。

シラバス検索 > > 検索結果 > シラバス照会 戻る

印刷

画面下へ

授業コード	1102062001
授業名	応用振動学
英文名	Application of Vibration
開講年度学期	2012年度 後期
単位数	2.0
主担当教員	藤田 聡
副担当教員	

目的概要 振動学の講義に引続き、線形2自由度系の振動、線形多自由度系の振動、モード解析の基本、能動的制御手法等について講義する。講義では、可能な限り実際の耐震設計の様子や、振動工学の現実への適用例をビデオやOHPを用いて紹介する。また、非線形系の応答解析を含めて、数値計算法についても講義する予定である。



※ クラス分け情報、ガイダンス情報（シラバス下部）に指示が記載されている場合がありますので、学期開始前から履修登録期間の間は、よく確認してください。

3. 他画面からのシラバス参照

オンラインシラバスは、「履修登録画面」「学生時間割画面」「クラスプロファイル」からも参照することができます。科目名をクリックすると、シラバス画面が開きます。

履修登録中／履修登録後に自分の履修予定／履修済の授業内容を確認したい場合は、上記各メニューの画面から閲覧すると便利です。

Web による履修登録方法

0. 全体の流れ

履修登録は、原則として学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」上で行うこととなります。履修登録は以下のような手順で行います。

1 DENDAI – UNIPA へのログイン

2 履修希望科目の選択

3 エラーチェック

4 履修登録の確定

5 進級見込判定・卒業見込判定

6 履修登録科目の確認方法

7 履修登録に関する FAQ

1. DENDAI – UNIPA へのログイン

学生ポータルサイト「DENDAI – UNIPA」へアクセス、ログインします。

<https://portal.sa.dendai.ac.jp>



-
- ※ DENDAI – UNIPA は、ログイン後 30 分間操作がないとタイムアウトになり、再度ログインが必要になります。
確定前の履修登録情報が消えてしまう可能性がありますので、あらかじめ紙に履修計画を書くなどしてから履修登録を行ってください。
-

2. 履修希望科目の選択

1 「履修登録」画面の選択

画面上部のメニューから **履修登録** をクリックします。(図1)



図1 メニュー

2 授業時限の選択

編集したい授業時限のコマの中の選択ボタンをクリックします。(図2)

※集中講義は画面左下の **集中講義** にある選択ボタンから履修できます。

履修登録

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 最終確認 ▶ 4 完了

▶ 履修する授業を選択してください。 ◀

振替状況の確認

時間割表示 一覧表示 履修合計単位 0.0 チェック

2012年度 後期 後期単位 0.0

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	選択	選択	選択	選択	選択	
2						
3	選択	選択	選択	選択	選択	選択
4	選択	選択	選択	選択	選択	選択
5	選択	選択	選択	選択	選択	

図2 履修登録画面

3 履修可能科目から科目を選択

「授業の追加」画面に開講科目が表示されますので、履修したい科目にチェックを入れて **確定** をクリックします。(図 3)



- ※ 同じ科目名が複数ある場合は、ガイダンスの指示やシラバスのクラス分け情報、掲示などで教員氏名をよく確認してから選択してください。
- ※ 「授業の追加」画面では、科目名をクリックすることでシラバスを確認できます。

■ 授業の追加			閉じる
2012年度 後期 月1			
	授業コード	科目名	単位
<input type="checkbox"/>	102282003	化学II【藤本 明】	2.0
<input type="checkbox"/>	102332001	化学実験II【篠崎 閑】 <small>復回</small>	1.0
<input type="checkbox"/>	106142001	物理実験II【長澤 光晴】 <small>復回</small>	1.0
<input type="checkbox"/>	1G0072004	トリムスポーツII【古賀 初】 <small>復回</small>	2.0
確定			

図 3 授業の追加画面

4 選択した科目の確認および取消方法

「授業の追加」画面で追加した科目が、履修登録画面に表示されているか確認します。(図 4)

科目を取り消す場合は **削除** をクリックします。

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 最終確認 ▶ 4 完了						
▶ 履修する授業を選択してください。◀						履修状況の確認
時間割表示	一覧表示	履修合計単位 2.0			トチェック	
● 2012年度 後期 後期単位 2.0						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
1 選択 削除 1102282003 化学II【藤本 明】 2603	選択	選択	選択	選択	選択	
2 選択	選択	選択	選択	選択	選択	
3 選択	選択	選択	選択	選択	選択	
4 選択	選択	選択	選択	選択	選択	
5 選択	選択	選択	選択	選択	選択	

図 4 履修した科目の確認

3. エラーチェック

1 履修希望科目を全て選択したら、**チェック** ボタンをクリックします。

何らかの条件で履修することができない科目が選択された場合、履修時間割の曜日
時限コマがピンク色に表示されます。(図5)

2 エラーメッセージが出た場合は、画面上部の「登録内容にエラーがあります」のメッ
セージをクリックし、「エラー内容の確認」画面でエラー内容を確認の上、修正をしてく
ださい。(図6)

3 エラーがなくなるまでチェックを繰り返します。

※エラー内容について不明な点がある場合は、速やかに工学部・未来科学部事務局
に申し出てください。

4 エラーが全てなくなると最終確認に進みます。

The screenshot shows the '履修登録' (Course Registration) interface. At the top, there is a progress bar with four steps: 1. 授業の選択 (Selected), 2. エラー確認 (Error Confirmation), 3. 最終確認 (Final Confirmation), and 4. 完了 (Completed). A message in the center reads: '登録内容にエラーがあります。(こちらより内容を確認できます。)' (There is an error in the registration content. (You can check the content from here.)). A red circle highlights the 'チェック' (Check) button in the top right corner. Below the message, there is a table of course selections for the 2012 academic year, second semester. The table has columns for days of the week (月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日) and rows for course numbers and names. Some cells in the table are highlighted in pink, indicating errors. For example, the first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The tenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eleventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twelfth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fourteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventeenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The nineteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twentieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The twenty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirtieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The thirty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fortieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The forty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fiftieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The fifty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixtieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The sixty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The seventy-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eightieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The eighty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The ninetieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundredth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and tenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eleventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twelfth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fourteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventeenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and nineteenth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twentieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and twenty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirtieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and thirty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fortieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and forty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fiftieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and fifty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixtieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and sixty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and seventy-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eightieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and eighty-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninetieth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-first row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-second row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-third row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-fourth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-fifth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-sixth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-seventh row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-eighth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundred and ninety-ninth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday. The hundredth row has pink cells for Monday, Tuesday, and Wednesday.

図5 チェック後の画面 (エラーあり)



- ※ エラーが出ている場合は、登録が未完了です。必ずエラーは修正してください。
- ※ エラーの修正を試みてもエラーが消えない場合には放置せず、履修登録期間内に工学部・未来科学部事務局窓口まで申し出てください。

主なエラーメッセージの例

【同名科目（または同一科目）を複数履修している場合】

- ⇒ 「既修得。」
- ⇒ 「科目重複。同じ科目がすでに登録されています。」
- ⇒ 「複数回修得不可の科目を複数回履修しています。」
- ⇒ 「同じ振替科目を複数履修することは出来ません。」

【同じ曜日時に履修することが出来ない複数の科目を選択している場合】

- ⇒ 「時間割重複。」

【履修上限単位数を超えて履修登録をした場合】

- ⇒ 「時間帯で指定された上限授業数を超過しています。」

■ エラー内容の確認 閉じる					
■ 基本、条件エラー					
授業コード	開講学期	開講曜日	科目名	単位	メッセージ
1102512002	2012年度 後期	金4	回路理論II【西方 正司】	2.0	科目重複。同じ科目がすでに登録されています。
1102512004	2012年度 後期	火4	回路理論II【飯田 祥二】	2.0	科目重複。同じ科目がすでに登録されています。
1102512003	2012年度 後期	金4	回路理論II【大内 幹夫】	2.0	科目重複。同じ科目がすでに登録されています。
1104822016	2012年度 後期	木1	線形代数学II【藤澤 太郎】	2.0	既修得。
1106112012	2012年度 後期	金3	物理学II(標準)【桃沢 信幸】	2.0	既修得。
1105972002	2012年度 後期	月3 木4	微分積分学および演習II	4.0	既修得。

■ 制限エラー
制限エラーはありません。

図 6 「エラー内容の確認」画面

4. 履修登録の確定

エラーチェックの結果、エラーがなければ「チェック」ボタンが「確定」ボタンに変わり、画面上部には「エラーはありません。」のメッセージが表示されます。(図7)

履修登録画面に表示されている科目・担当教員氏名に間違いがないかどうか再度確認し、修正したい場合は「授業の選択へ戻る」ボタンを、修正が必要ない場合は「確定」ボタンをクリックします。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	11L0062004 総合英語Ⅳ 【吉成 雄一郎】 2404	1104402001 情報理論 【小山 裕徳】 21003		11G0162001 大学と社会 【大江 正比古】 2505	
1					
			1101292002 フーリエ解 析【三鍋 聡司】 2504	1106392002 量子物理学 【平栗 健二】 2503	
2					
	1105582005 電磁気学Ⅱ				

履修を一度確定した後も、履修登録期間内であれば履修内容の変更は可能です。

図7 チェック後の画面（エラーなし）



※ 「確定」をクリックする前に、登録モシがないかを確認してください。

5. 進級見込判定・卒業見込判定

1年～3年次生は「進級見込判定」、4次生は「卒業見込判定」を行うことができます。

- 1 画面上部のメニューから **成績関連** → **卒業見込判定** または **進級見込判定** を選択してください。(図8)

The screenshot shows the TDU student portal interface. At the top, there are navigation tabs: 個人情報, 履修登録, 時間割, 授業, 成績関連, and アンケート. Below these, there are sub-tabs: ポータル, クラスプロフィール, and マイステップ. The '成績関連' menu is expanded, showing options: 成績照会, 進級見込判定, 卒業見込判定, and 資格取得見込判定. A '重要な連絡' (Important Notice) section is visible, containing a message about email notifications.

図8 進級・卒業見込判定選択

- 2 判定結果が表示されます。(図9)

単位数や科目数の不足が表示された場合は、不足を補うよう履修計画を立ててください。

進級見込判定				戻る
進級条件を満たしていません。				
コード	要素No	要件不足詳細	不足数	
1002	1	4年次への進級には、3年次終了時に自由科目を除き、104単位以上修得済であること。	48.0単位	
1003	1	4年次への進級には、人間科学科目を10単位以上修得済であること。	2.0単位	
1004	1	4年次への進級には、英語科目を4単位以上修得済であること。	1.0単位	
1007	1	4年次への進級には、専門必修科目21科目のうち18科目以上修得済であること。	10科目	

図9 進級見込判定結果



- ※ 進級・卒業見込判定は何度でも行うことができます。履修登録内容を変更するたびに見込判定画面を確認することをお勧めします。
- ※ 判定は、履修登録した科目を全て修得した場合に、各判定の要件を満たすか否かを表示する機能です。

6. 履修登録科目の確認方法

履修登録を確定すると、「履修登録が完了しました。」のメッセージと **時間割の印刷** ボタンが出現します。(図 10)

履修内容の確認のために、必ず「時間割表の印刷」ボタンでプリントアウトを行い、各自保管してください。

履修登録

授業の選択 ▶ エラー確認 ▶ 最終確認 ▶ 完了

▶ 履修登録が完了しました。◀

時間割表示 一覧表示 履修合計単位 24.0

2012年度 後期 後期単位 24.0

月曜日	火曜日	水曜日	金曜日	土曜日
	11L0062004 総合英語Ⅳ 【吉成 雄一郎】 2404	110440200 【小山 裕徳】	11G0162001 大学と社会 【大江 正比古】 2505	
		1101292002 フーリエ解	1106392002 量子物理学	

Web ページからのメッセージ

確定しました。

OK

図 10 履修完了画面



※ 履修する科目全てについて、科目名・曜日時限・担当教員名、クラス等に誤りがないかを確認してください。履修登録していない科目は採点の対象とならないため、単位を修得することはできません。

7. 履修登録に関する FAQ

- Q パスワードがわからない（忘れた）。
A 総合メディアセンターにお問合せください。再発行となる場合もありますので、履修登録前にパスワードの確認を事前に行ってください。
- Q ログインできない。
A 学籍番号を半角小文字で入力していない、もしくはパスワードが間違っている可能性があります。再度、入力してみてください。
- Q 携帯電話等から履修登録できますか？
A 動作確認されていません。動作確認済みの環境で履修登録してください。
- Q 履修登録できない科目がある。
A すでに修得している、時間割上重複している、カリキュラム年度が異なる等、さまざまな理由が考えられます。工学部・未来科学部事務部窓口へ申し出てください。
- Q 何度修正してもエラーメッセージが消えない。
A そのまま放置せずに、速やかに工学部・未来科学部事務部窓口へ申し出てください。
- Q 午前 3 時～ 5 時 30 分の間は履修登録期間であっても履修登録ができないのですか？
A システムメンテナンスを行っていますので、履修登録はできません。
- Q 再履修はどのように履修登録するのか？
A 新規履修と同様に履修登録を行ってください。また授業内・シラバス・掲示などで指示がある場合はそれに従ってください。
- Q 履修登録したはずなのに、確認画面に載っていないのはなぜか？
A 履修登録の「最終確認」で「確定」をクリックしていない可能性があります。「確定」をクリックしないと、選択内容は登録されません。
- Q 履修登録後に登録間違いに気がついた。
A 一度履修確定した後も、履修登録（履修登録修正）期間内であれば、履修内容の変更は可能です（一部科目を除く）。期間終了後は変更が不可能ですので、ご注意ください。
- Q Web 履修登録中（ログイン中）に履修登録受付終了時間となったが、履修登録は可能なのか？
A ログイン中であっても、履修登録受付終了時間を過ぎると、履修登録は不可能となります。時間の余裕をもって履修登録をしてください。
- Q 担当教員が履修登録を許可しているのに、履修登録できない科目がある。
A 工学部・未来科学部事務部窓口へ申し出てください。

履修登録用 下書き

※ あらかじめ履修計画を立ててから履修登録を行うことをお勧めします。

【前期】（通年）

時限	月	火	水	木	金	土

集中講義	
------	--

【後期】（通年）

時限	月	火	水	木	金	土

集中講義	
------	--

クラスプロファイル

1. クラスプロファイルについて

クラスプロファイルでは、履修している授業について、授業資料のダウンロードや課題の提出などを「DENDAI – UNIPA」上で行うことができます。

教員からの指示等に応じて、クラスプロファイルの各機能を使用してください。



- ※ 履修登録を行っていない授業科目については、クラスプロファイル機能を使用することができませんのでご注意ください。
 - ※ クラスプロファイルの各機能は、追加・削除を行う場合があります。
 - ※ クラスプロファイルの閲覧、データのダウンロードなどは当該科目の学期最終週後に使用できなくなります。必要な資料は各自の環境に保存してください。
-

(1) 画面構成

①曜日リスト

曜日をクリックすると時限ごとに履修している授業名が表示されます。
[課題管理] に新着情報がある場合は授業名の右に★が表示されます。

②授業表示欄

曜日リストで選択した授業の情報が表示されます。

③アプリケーションエリア

②の授業表示欄に表示されている授業に対し、使用可能な機能の一覧です。



(2) クラスプロファイルの基本操作

- 1** 「DENDAI-UNIPA」にログインし、トップページから **クラスプロファイル** をクリックします。
- 2** 画面左の①曜日リストから曜日を選択すると、その曜日に履修している授業科目が表示されます。
科目名をクリックすると、②授業表示欄に表示されます。
- 3** 画面中央の③アプリケーションエリアから、使用したい機能のボタンをクリックします。

2. 授業資料のダウンロード方法

教員が「DENDAI－UNIPA」上にアップロードした授業資料をダウンロードすることができます。（履修登録した学生のみ）

- 1 曜日リストから授業を選択し、アプリケーションエリアから **授業資料** をクリックすると、選択した授業の資料が一覧で表示されます。



- 2 授業資料一覧画面でタイトルをクリックすると、下に詳細情報が表示されます。ファイル名の右の  をクリックすると資料をダウンロードできます。



3. 授業課題の提出方法

教員から出された課題を「DENDAI - UNIPA」上で確認・提出することができます。

- 1 アプリケーションエリアの **課題提出** をクリックすると、選択した授業に課題があれば、課題の一覧が表示されます。

The screenshot shows the '課題提出' (Assignment Submission) page. At the top, there are navigation links: [トップ] [課題提出] [授業資料] [WEBノート]. The page title is '火曜 3限 1101252001 パワーエレクトロニクス'. Below the title, there are filters: '課題グループ' (Assignment Group) set to '全て対象' (All), and checkboxes for '未提出の課題のみ表示する' (Show only unsubmitted assignments) and '提出期間内の課題のみ表示する' (Show only assignments within the submission period). There is also a '並び順' (Sort) dropdown set to '提出終了日順' (Sort by submission end date) and a '検索' (Search) button. A table below shows the list of assignments:

課題グループ	課題	提出期間
□ パワーエレクトロニクス A: 11/8分	課題	2011/11/08(火) 18:00~2011/11/19(土) 18:00

- 2 課題一覧画面で課題名をクリックすると、次画面に教員の登録した課題の詳細内容が表示されます。教員が添付ファイルを登録した場合は、この画面に表示されます。

The screenshot shows the '課題詳細' (Assignment Details) page. At the top, there are navigation links: [トップ] [課題提出] [授業資料] [WEBノート]. The page title is '火曜 3限 1101252001 パワーエレクトロニクス'. There is a '戻る' (Back) button. The page is divided into two main sections:

- 課題詳細欄 (Assignment Details Section):** This section contains the assignment details. It includes the '課題名' (Assignment Name) '課題 (11/8分)' and the '提出期間' (Submission Period) '2011/11/08(火) 18:00 ~ 2011/11/19(土) 18:00'. The '課題内容' (Assignment Content) section contains instructions: '課題は添付のファイルを確認すること。また添付ファイルに記入し、UNIPAで提出すること。ファイル名の規則は下記を参照のこと。' (Check the attached files for the assignment. Also, enter the assignment in the attached file and submit it on UNIPA. Refer to the following rules for file names.) It also states: '本科目は複数教員が担当しているため、各自の担当教員別にファイル名を指定する。教員別のグループ名、課題番号、学籍番号、氏名の順にファイル名をつけること。' (Because multiple instructors are in charge of this course, specify the file name for each instructor. Attach the file name in the order of instructor name, group name, assignment number, and student ID number.) An example file name is given: '電大先生...Aグループ、千住先生...Bグループ' and 'ファイル名の見本は以下のとおり。A_001_11ee001_DendaiTaro.doc(文字はすべて半角)'. There is a '課題ダウンロード' (Download Assignment) button.
- 提出欄 (Submission Section):** This section contains a 'コメント' (Comment) text area. Below it, there are instructions: '※URLをハイパーリンクとして登録する場合は、{}内に記述してください' (When registering as a URL, please describe it in {}.) and '提出するファイルを指定し、追加ボタンを押下してください。(最大5ファイルまで可)' (Specify the files to be submitted and press the Add button. (Maximum 5 files allowed)). There is a '添付' (Attach) input field, a '参照...' (Reference...) button, and an '追加' (Add) button. At the bottom right, there is a '提出' (Submit) button.

A callout box points to the '課題ダウンロード' button with the text: '教員からの添付ファイルがあれば、こちらに表示されます。' (If there are attached files from the instructor, they will be displayed here.)

- 3 「提出」欄では「コメント」もしくは「添付ファイル」で課題の提出を行います。
添付ファイルで提出する場合は、**参照** をクリックします。

- 4 添付するファイルの選択をした後、必ず **追加** をクリックします。 **追加** をクリックすると、下に添付したファイル名が表示されます。



※ 教員が設定した提出可能ファイル数によっては、ファイルを複数添付することも可能です。(1ファイルにつき10MBがアップロードできる上限です。)
なお、拡張子のないファイルや、exe形式のファイルは添付できません。

ファイル添付前

※URLをハイパーリンクとして登録する場合は、{}内に記述してください
提出するファイルを指定し、追加ボタンを押下してください。(最大5ファイルまで可)

添付 **参照...** **追加**

戻る **提出**

ファイル添付後

添付 **参照...** **追加**

添付ファイル	KByte	削除
A_001_11ee001_DendaiTaro.doc ↓	20KB	削除

戻る **提出**

- 5 最後に右下の **提出** をクリックします。

- 6 課題の提出後は、課題一覧画面に提出日時が表示されます。

必ず提出できているか否か（添付資料がある場合、アップロードされているか否か）を自身で確認してください。

- 7 課題によっては、提出後、提出期限内であれば修正することができます。

その場合は、上記の提出日時をクリックし、課題の修正を行い、再度 **提出** をクリックしてください。

出席確認

1. 出席情報の確認について

学生証による出席管理が可能な教室で授業を行っている科目については、出席情報を DENDAI - UNIPA で確認することが出来ます。出席管理と学生証の操作方法については、第 1 章 1-2 出席についてを参照してください。

- 画面上部のメニューから **授業** → **出席確認** をクリックすると、出席状況が表示されます。

The screenshot shows the portal interface with a navigation menu at the top. The '授業' (Class) menu is selected, and the '出席確認' (Attendance Confirmation) option is highlighted with a red circle. Below the menu, there is a calendar for December 2012 and a list of important notices.

- 出席確認画面で、反映されているデータを確認することが出来ます。

2012年度 後期 2012/12/17 を基準に出席率を算出します。 検索

曜日時限	授業コード	科目名	出席率	出席状況																
				1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回		
月4	1105292002	電気電子計測(五島 泰文)	50%	○	○	○	○	○											/	/
火3 火4	1105332001	電気電子工学基礎実験II(原 和裕)	0%																	
水1	1104402001	情報理論(小山 裕徳)	67%	○	○	○	○	○	○	○	○	○								休
水2	1105442001	電子回路I(榎野 彰規)	85%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
水3	11G0392003	中国語II(費 燕)	77%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
木2	1101292002	フーリエ解析(三橋 聡司)	77%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
木3	1106422002	論理システム設計I(五島 泰文)	79%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
金2	1106392002	量子物理学(平栗 健二)	82%	休	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			/
金3	1105582001	電気気学II(原 和裕)	92%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			/
金4	1102512003	回路理論II(大内 幹夫)	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			/

○: 出席 ▽: 早退 △: 遅刻 ×: 欠席 -: 欠欠 休: 休講 /: 未実施 ■: 定期試験 ■: 追試験 ■: 再試験

出席情報の確認画面



- ※ 出席情報が反映されるのは、履修登録が完了した後です。学期の初めのうちは、出席情報が反映される科目とされない科目があります。出席情報が正確に反映される準備が整った後、掲示にてその旨周知します。それまでは暫定的な情報としてご確認ください。
- ※ その他、次ページ「よくある質問」を参照してください。

出席確認に関するよくある質問

Q 出席データはいつ UNIPA へ反映されますか？

A 原則授業日の翌日午前 5 時 30 分に UNIPA へ反映されます。

Q 学生証をタッチしましたが出席になっていないのはなぜですか？

A ①当該授業であると認識できる範囲は、授業開始の 10 分前から授業終了までです。

そのため、授業開始の 10 分以上前にタッチしてしまうと出席として扱われません。学生証をタッチした時間については、入退館管理システム (MARCO (マルコ) システム※) より確認できます。

共通認証の ID とパスワードを入力後、メニューの「出席管理」→「あなたの足跡」を選択すると別ウィンドウが開きますので、「読取日」に確認したい日付を設定し、「レポートの表示」をクリックしてください。10 分以上前にタッチしてしまったことが確認できた場合は、画面のハードコピーを印刷し担当教員に相談してください。

②出欠を厳格に管理されている先生の場合、タッチされた時間や授業態度等を基に UNIPA の出席記録を修正されることがあります。身に覚えがある場合は担当教員に質問してください。

Q 連続した授業は最初のコマの部分しか出席が反映されないのですか？

A はい。その通りです。他方、出席率はコマ数を基準に計算されます。

例えば月曜日 3、4 限の授業に全て出席した場合の出席率は原則的に「50%」と表示されます。

Q 授業に出席しましたが MARCO システムにも反映されていません。どうすればよいですか？

A 学生証が正しく認識されなかった可能性がありますので担当教員に相談してください。

その際、授業ノート、配布物等を事前に用意しておいてください。なお、工学部・未来科学部事務部では出席の確認は行えませんのでご了承ください。

Q 学生証を忘れてしまったのですが、どうすればよいですか？

A 2 号館 1 階の受付にて ID の発行を行ってください。当日はそのカードを使用してください。

※入退館管理システム (MARCO (マルコ) システム)

<https://marco.ms.dendai.ac.jp/>

成績確認

1. 成績の確認について

自分の成績を DENDAI - UNIPA で確認することができます。

- 1 画面上部のメニューから **成績関連** → **成績照会** をクリックすると、成績照会画面が表示されます。

■ 成績照会

■ 表示パターン 通常 年度学期別

■ 表示設定 評価名称 不合格科目 履修中科目 表示

科目名	単位	評価	年度	学期	教員氏名
<(A)人間科学科目(選択)>					
フレッシュマンセミナー	2.0	B	2011	前期	大江 正比古
トリムスポーツI	2.0	B	2011	前期	加藤 知己
※ 大学と社会	2.0		2012	後期	大江 正比古
日本経済入門		D	2011	前期	阿部 一知
企業と経営	2.0	A	2011	後期	世良 耕一

(注) 科目名の先頭に※が出力された科目は現在履修中です。

■ GPA 3.452

■ 単位修得状況

科目分類	卒業要件	人間科学	英語	専門教育	任意選択	自由	教職	合計						
卒業要件単位		16.0	6.0	90.0	12.0									
修得済単位	110.0	22.0	6.0	82.0	0.0	0.0	0.0	110.0						
履修中単位	24.0	4.0	0.0	20.0	0.0	2.0	0.0	28.0						
合計単位	134.0	26.0	6.0	102.0	0.0	2.0	0.0	136.0						

戻る

成績照会画面



- ※ 「単位修得状況」欄の卒業要件は学部・学科(コース)により異なります。
- ※ 「単位修得状況」欄に「任意選択」という区分が表示される学科(コース)の場合、機能上、その区分には単位数が表示されません(任意選択区分については、学修案内の項を参照)。同区分の単位を表示できないというシステム上の制約はありますが、集計欄を出すことにより、利便性が高まると判断し表示させています。

その他の主な機能

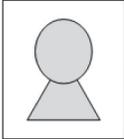
1. 個人別情報について

自分の個人情報を DENDAI – UNIPA で確認することが出来ます。

1 画面上部のメニューから **個人別情報** → **学籍情報照会** をクリックすると、学籍情報照会画面が表示されます。

【主な情報】

- ・ 学内の属性に関する情報・・・学科、学年、カリキュラム年度などの情報
 - ・ 個人の属性に関する情報・・・現住所、保証人の連絡先などの情報
 - ・ 個人の学業に関する情報・・・過去の GPA 値などの情報
- ※項目は追加・削除される場合があります。

学籍情報照会		戻る
学生基本情報		
学籍番号		
学生氏名		
カナ氏名		
英語氏名		
旧姓氏名		
旧姓氏名(カナ)		
性別	男性	
生年月日		
所属学科組織	大学 E EC	
カリキュラム学科組織	E C	
学年	3	
国籍	日本	
真勤履歴	連続(2012年04月01日)	
就学種別	一般入学生	
入学期NO	1	
カリキュラム年度	2010	
入学年度	2010	
入試種別	公募制推薦入試	
セメスタ		
入学日付	2010年04月01日	
出学日付		
卒業・修了予定年月	2014年03月	
修了予定日		
専攻コース種別	履修上限単位数	
	

個人情報照会画面



※ 住所や保証人の連絡先等が変わった場合は、速やかに学生支援センターに申し出て変更手続きを行ってください。

2. メール設定について

メールアドレスの登録を DENDAI – UNIPA で行うことが出来ます。

- 1 画面上部のメニュー項目の上にある **メール設定** をクリックすると、メールアドレスの登録が表示されます。

「受信メールアドレス(PC)」には、大学から付与される学籍番号がついているメールアドレスが設定されています（変更不可）。

このアドレスのほか、「受信メールアドレス(携帯)」の欄にメールアドレスを登録することが可能です（「携帯」とありますが、携帯電話のメールアドレス以外でも登録可）。

画面上部のメニュー項目の上にある「メール設定」をクリックすると、メールアドレスの登録が表示されます。

「受信メールアドレス(PC)」には、大学から付与される学籍番号がついているメールアドレスが設定されています（変更不可）。

このアドレスのほか、「受信メールアドレス(携帯)」の欄にメールアドレスを登録することが可能です（「携帯」とありますが、携帯電話のメールアドレス以外でも登録可）。

メールアドレス設定画面



※ 掲示情報は原則として DENDAI – UNIPA のみに配信されますが、急を要するものや重要度の高い掲示はメールアドレスにも同時配信されることがあります。

3. 時間割について

時間割情報を DENDAI – UNIPA で確認することが出来ます。

- 画面上部のメニューから **時間割** をクリックすると、時間割メニューが複数表示されます。

時間割は「カレンダー表示」または「一覧表示」で見ることが出来ます。

時間割の種類	表示される内容
学生時間割表	履修登録をした科目が表示される時間割。 履修確定前でも、履修状態にある科目は表示されます。
教員用時間割	教員ごとの時間割表を検索することが出来ます。
授業時間割表	自分のカリキュラム、自分の所属する学年次以下の科目が全て表示されます（他学部の科目などは表示されません）。

上級学年や自学科以外の時間割を表示させる方法

※ 「一覧表示」の形式です。

「戻る」⇒「条件検索」授業時間割表画面で「戻る」を押すと、条件検索が画面になります。学年を上級学年にすると、上級学年の今年度開講する時間割が見られます。※カリキュラムが異なる場合、科目名等が違う場合がありますので注意してください。

開講曜日	授業コード	科目名	教員氏名
月 3	1100901001	スタートアップゼミ	小山 知徳
月 4	1100165001	Webページ制作	堀田 謙男 2901
月 4	1100824001	コンピュータグラフィクス	堀田 謙男 2901
月 5	11R0041001	日本語中級C	相澤 一高 2905
火 1	1104161001	情報メディア概論	川窪 正史 2905
火 2	1104811002	線形代数学(基礎)	山本 規 2904
火 2	1104811005	線形代数学(標準)	高崎 裕 2905
火 2	1104811015	線形代数学(標準)	高田 秀樹 2903
火 2	1104811018	線形代数学(初歩)	田代 健聖 2904
火 2	1104811026	線形代数学(標準)	出崎 光夫 2905
火 3	11L0011003	総合英語I	高添 輝夫 2404
火 3	11L0011014	総合英語I	小谷 悠太郎 4302
火 3	11L0011015	総合英語I	赤名 浩史 1224
火 3	11L0011040	総合英語I	大野 寛 4304
火 3	11L0021006	口語英語I	大野 寛 1225
火 3	11L0021022	口語英語I	大野 寛 2402

検索条件:

- 開講年度: 2012
- 学期: 前期
- カリキュラム学科: ES
- 学年: 4
- 表示形式: カレンダー 一覧

左の条件から検索します



※ 時間割を見る際は、科目担当教員名の間違い等がないように注意してください。特に自分の学年以外の科目・他学科の科目などを見る際は、学生要覧の「授業科目配当表」なども確認し間違いのないように気をつけてください。

授業科目配当表 共通教育科目

2012 (平成24)年度カリキュラム
未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考
スキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1	2	選	1	半期(前)	1年次前期のみ開講
	文章表現法	1	2	選	1後234	半期(後)	
	東京電機大学で学ぶ	1	1	選	1	半期(前)	導入科目 e-Campus科目
コミュニケーション	教養演習(発表の技法)	前1後1	2	選	3	通年	平成25年度開講せず 集中講義(演習形式)
スポーツ・健康	健康と生活	1	2	選	全	半期(前/後)	
	スポーツコンセプト	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	トリムスポーツⅠ	2	2	選	1	半期(前)	
	トリムスポーツⅡ	2	2	選	1	半期(後)	
	スポーツ科学演習A	1	2	選	234	半期(前)	
	スポーツ科学演習B	1	2	選	234	半期(後)	
	アウトドアスポーツA	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義
	アウトドアスポーツB	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義
	アウトドアスポーツC	1	1	選	全	半期(後)	冬期集中講義
人間理解	哲学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	記号論理学	1	2	選	全	半期(前/後)	
	倫理学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	自己心理学セミナー	1	2	選	全	半期(前/後)	
	人間関係の心理	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	認知心理学	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	歴史理解の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	
	芸術	1	2	選	全	半期(前/後)	(1)音楽(2)美術 時間割上履修学年に制限がかかることがある。
社会理解	法律入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	日本国憲法	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	国際政治の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	日本経済入門	1	2	選	全	半期(前/後)	月曜2時限e-Campus科目
	企業と経営	1	2	選	全	半期(前/後)	
	企業と社会	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	グローバル社会の市民論	1	2	選	全	半期(前/後)	平成25年度後期開講せず 時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	大学と社会	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	介護福祉論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
異文化理解	アメリカ理解	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ヨーロッパ理解	1	2	選	全	半期(前/後)	
	アジア理解	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ドイツ語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ドイツ語Ⅱ	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	中国語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	中国語Ⅱ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	比較文化論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
武道と日本人のこころ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通教育科目 技術者教養	技術者倫理	1	2	選	2	半期(前/後)	
	失敗学	1	2	選	2	半期(前/後)	
	情報倫理	1	2	選	2	半期(前/後)	
	製造物責任法	1	2	選	2	半期(前/後)	
	情報化社会と知的財産権	1	2	選	2	半期(前/後)	
	特許法	1	2	選	2	半期(前/後)	
	情報とネットワークの経済社会	1	2	選	2	半期(前/後)	
	科学技術と企業経営	1	2	選	2	半期(前/後)	
	情報化社会とコミュニケーション	1	2	選	2	半期(前/後)	
	コンピュータと人間社会	1	2	選	2	半期(前/後)	
	情報と職業	1	2	選	2	半期(前/後)	
	地球環境論	1	2	選	2	半期(前/後)	
	科学技術と現代社会	1	2	選	2	半期(前/後)	平成25年度前期開講せず
	科学の社会史	1	2	選	2	半期(前)	
	技術の社会史	1	2	選	2	半期(後)	

技術者教養科目

よき技術者が備えるべき知識や教養を内容とした教養科目。
 技術者倫理、関連法規、環境及び人間社会と科学技術の関わり、技術者をめぐる社会科学分野などで構成される。

技術者教養科目の中から選択して最小限1科目(2単位)を履修すること。

7科目区分のバランスよい履修をこころがけること。

2008（平成20）～2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	
基礎 科目	フレッシュマンセミナー	1	2	選	1	半期(前)	1年次前期のみ開講	
	文章表現法	1	2	選	全	半期(後)		
	総合演習(発表の技法)	前1後1	2	選	3	通年	集中講義(演習形式)	
	自己心理学セミナー	1	2	選	全	半期(前/後)		
	健康と体力	1	2	選	全	半期(前/後)	健康と生活と同時開講	
	トリムスポーツⅠ	2	2	選	1	半期(前)		
	トリムスポーツⅡ	2	2	選	1	半期(後)		
	トリムスポーツⅢ	1	1	選	234	半期(前/後)	スポーツ科学演習Aと同時開講 平成25年度後期開講せず	
	トリムスポーツⅣ	1	1	選	234	半期(前/後)	スポーツ科学演習Bと同時開講 平成25年度前期開講せず	
	アウトドアスポーツA	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義	
	アウトドアスポーツB	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義	
	アウトドアスポーツC	1	1	選	全	半期(後)	冬期集中講義	
	東京電機大学で学ぶ	1	1	選	1	半期(前)	導入科目 e-Campus科目	
共通 教育 科目	人文 社会 科学 科目	グローバル社会の市民論	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		現代社会の市民論	1	2	選	全	半期(後)	
		大学と社会	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		認知心理学	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		哲学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
		歴史理解の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	
		人間関係の心理	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		法律入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
		記号論理学	1	2	選	全	半期(前/後)	
		倫理学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
		日本国憲法	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		国際政治の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
		日本経済入門	1	2	選	全	半期(前/後)	月曜2時限e-Campus科目
	企業と経営	1	2	選	全	半期(前/後)		
	芸術	1	2	選	全	半期(前/後)	(1)音楽(2)美術 時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	介護福祉論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	武道と日本人のこころ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	スポーツコンセプト	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	アメリカ理解	1	2	選	全	半期(前/後)	平成25年度後期開講せず 時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	ヨーロッパ理解	1	2	選	全	半期(前/後)		
	アジア理解	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	比較文化論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	ドイツ語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	ドイツ語Ⅱ	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	中国語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	中国語Ⅱ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
	技術 者 教 養 (S T S) 科 目	技術者倫理	1	2	選	1後234	半期(前/後)	
情報化社会とコミュニケーション		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
科学技術コミュニケーション		1	2	選	1後234	半期(前/後)	平成25年度開講せず	
地球環境論		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
製造物責任法		1	2	選	1後234	半期(前/後)		
科学技術と倫理		1	2	選	1後234	半期(前/後)	平成25年度後期開講せず	
情報とネットワークの経済社会		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
科学技術と企業経営		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
情報と職業		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	
情報倫理		1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	

2008（平成20）～2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通 教育 科目	技術者教養（STS）科目 特許法	1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	情報化社会と知的財産権	1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	コンピュータと人間社会	1	2	選	1後234	半期(前/後)	
	失敗学	1	2	選	1後234	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	科学の社会史	1	2	選	234	半期(前)	
	技術の社会史	1	2	選	1後234	半期(後)	

技術者教養(STS)科目

よき技術者が備えるべき知識や教養を内容とした教養科目。
 技術者倫理、関連法規、環境及び人間社会と科学技術の関わり、技術者をめぐる社会科学分野などで構成される。
 (STSとは、Science, Tcechnology and Societyの略で、科学技術と社会の関係を論じる学問領域を意味する。)

技術者教養(STS)科目の中から選択して最小限2科目(4単位)を履修すること。

基礎科目、人文社会科学科目及び技術者教養(STS)科目のバランスよい履修をこころがけること。

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 全学科 授業科目配当表

英語科目-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	
共通 教育 科目	英語 科目	総合英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	総合英語Ⅰと口語英語Ⅰは同時に履修登録しなければならない。 習熟度別・複数学科の合併。
		口語英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	
		総合英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	総合英語Ⅱと口語英語Ⅱは同時に履修登録しなければならない。 習熟度別・複数学科の合併。
		口語英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	
		総合英語Ⅲ	1	1	選	2	半期(前)	習熟度別
		総合英語Ⅳ	1	1	選	2	半期(後)	習熟度別
		英語基礎演習Ⅰ	1	1	選	2	半期(前)	履修条件あり
		英語基礎演習Ⅱ	1	1	選	2	半期(後)	履修条件あり
		英語演習A	1	1	選	2	半期(前)	
		英語演習B	1	1	選	2	半期(後)	
		英語演習C	1	1	選	3	半期(前)	
		英語演習D	1	1	選	3	半期(後)	
		英語演習E	1	1	選	4	半期(前)	
		英語演習F	1	1	選	4	半期(後)	
		海外英語短期研修	随時	2	選	全	半期(前/後)	集中講義
		インターネットで学ぶ英語Ⅰ	随時	1	選	34	半期(前)	Web活用クラス
		インターネットで学ぶ英語Ⅱ	随時	1	選	34	半期(後)	Web活用クラス

履修上の制限について

1. 「総合英語Ⅰ」と「口語英語Ⅰ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
2. 「総合英語Ⅱ」と「口語英語Ⅱ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
3. 「英語基礎演習Ⅰ」は取得済み英語科目2単位以下、「英語基礎演習Ⅱ」は取得済み英語科目3単位以下である学生が対象。

2008(平成20)～2011(平成23) 年度カリキュラム
 未来科学部 全学科 授業科目配当表

英語科目－1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通 教育 科目	英語科目 総合英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	総合英語Ⅰと口語英語Ⅰは同時に履修登録しなければならぬ。 習熟度別・複数学科の合併。
	口語英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	
	総合英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	総合英語Ⅱと口語英語Ⅱは同時に履修登録しなければならぬ。 習熟度別・複数学科の合併。
	口語英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	
	総合英語Ⅲ	1	1	選	2	半期(前)	習熟度別
	総合英語Ⅳ	1	1	選	2	半期(後)	習熟度別
	発展英語A	1	1	選	2	半期(前)	
	発展英語B	1	1	選	2	半期(後)	
	発展英語C	1	1	選	3	半期(前)	
	発展英語D	1	1	選	3	半期(後)	
	英語演習上級Ⅰ	1	1	選	4	半期(前)	履修条件あり
	英語演習上級Ⅱ	1	1	選	4	半期(後)	履修条件あり
	海外英語短期研修	随時	2	選	全	半期(前/後)	集中講義
	英米事情Ⅰ	随時	2	自	234	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず
	英米事情Ⅱ	随時	2	自	234	半期(後)	集中講義/平成25年度開講せず
	英語演習Ⅰ	随時	2	自	234	半期(前)	Web活用クラス
	英語演習Ⅱ	随時	2	自	234	半期(後)	Web活用クラス

発展英語A(Speaking , Listening , Reading , TOEIC)
 発展英語B(Speaking , Listening , Reading , TOEIC)
 発展英語C(TOEIC演習)
 発展英語D(TOEIC演習)

履修上の制限について

- 1.「総合英語Ⅰ」と「口語英語Ⅰ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
- 2.「総合英語Ⅱ」と「口語英語Ⅱ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
- 3.「英語演習上級Ⅰ」および「英語演習上級Ⅱ」は、科目登録時に英語選択科目を5単位以上取得していること。

授業科目配当表 建築学科

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
専門 教育 科目	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
	建築プログラミング	1	2	必	1	半期(後)		114コンピユ
	熱環境工学基礎	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築設計概論	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	音光環境工学基礎	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学演習Ⅰ	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	保存と再生	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	建築音響・光環境学及び演習	2	3	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築CAD	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築計画	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学Ⅱ	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学演習Ⅱ	1	1	必	2	半期(前)		160工業
	測量実習	2	2	選	2	半期(前)		160工業
	構造設計概論	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	都市計画	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	西洋建築史	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	空気環境工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築構法	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	地域施設計画	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	建築設備概論	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	建築施工	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	材料・構造実験	2	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築・都市と情報デザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	鉄筋コンクリート構造	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築材料	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	アルゴリズムミックデザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	応力の可視化	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築法規	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	空間計画	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築都市デザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	日本建築史	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	鉄骨構造	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	地域整備計画	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築デザイン	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	都市建築史	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	先端建築設備学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	弾塑性力学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	絵画	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
	建築見学演習	1	1	選	2	半期(後)	集中講義	160工業
設計・パフォーマンスⅠ	2	2	必	1	半期(前)		160工業	
設計・パフォーマンスⅡ	4	4	必	1	半期(後)		160工業	
設計・パフォーマンスⅢ	4	4	必	2	半期(前)		160工業	
設計・パフォーマンスⅣ	4	4	必	2	半期(後)		160工業	
設計・パフォーマンスⅤ	4	4	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅥ	4	4	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅦ	2	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職
専 門 教 育 科 目	ベーシック・デザイン	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	研究・設計レビュー	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
	特別研究	前4後4	8	選	4	通年	「特別研究」「特別設計」は両方又はいずれかを選択/平成25年度開講せず	コードなし
	特別設計	4	4	選	4	半期(後)	「特別研究」「特別設計」は両方又はいずれかを選択/平成25年度開講せず	コードなし
	ワークショップ I	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
	ワークショップ II	3	3	選	1	半期(後)	集中講義	コードなし
	建築資格講座 I	1	2	選	2	半期(後)		コードなし
	建築資格講座 II	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップ I	随時	2	選	4	四半期(前前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップ II	随時	2	選	4	四半期(前後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップ III	随時	2	選	4	四半期(後前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップ IV	随時	2	選	4	四半期(後後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	化学 I	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	物理実験	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
	微分方程式 I	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析
	職業指導	前1後1	4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業
	代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
	代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
	幾何学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何
	微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何
	解析学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析
	複素解析学 I	1	2	自	2	半期(前)		112解析
	複素解析学 II	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析
	数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピュ
	線形代数学 III	1	2	自	2	半期(前)		110代数
	微分方程式 II	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析
	確率・統計 I	1	2	自	2	半期(前)		113確統
	確率・統計 II	1	2	自	2	半期(後)		113確統
	未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)		コードなし
	未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし
	未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職
専門 教育科目	コンピュータ基礎および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)		基礎要件
	コンピュータ基礎および演習Ⅱ	2	4	必	1	半期(後)		114コンピユ
	熱環境	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築設計概論	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	光環境	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学演習Ⅰ	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	保存と再生	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	音環境	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築CAD	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	設計計画	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学Ⅱ	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学演習Ⅱ	1	1	必	2	半期(前)		160工業
	測量実習	2	2	選	2	半期(前)		160工業
	素材と構造デザイン	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	都市計画	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	近代建築史	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	空気環境	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	木質構造	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	構法実習	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	地域施設計画	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	西洋建築史	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築設備概論	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築施工	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	材料・構造実験	2	2	選	3	半期(前)		160工業
	鉄筋コンクリート構造	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築材料	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	アルゴリズムミックデザイン	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	応力の可視化	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築法規	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築計画	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築都市デザイン	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	日本建築史	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	鉄骨構造	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	まちづくり論	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築デザイン	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築技術史	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	熱・空調工学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	弾塑性力学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	コンピュータによる骨組解析	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築と数学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
	構造計画と設計	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築音響・騒音制御工学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	絵画	1	1	選	2	半期(前)		コードなし
	建築見学演習	1	1	選	2	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅠ	4	4	必	1	半期(前)		160工業

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	設計・パフォーマンスⅡ	4	4	必	1	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅢ	4	4	必	2	半期(前)		160工業
	設計・パフォーマンスⅣ	4	4	必	2	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅤ	4	4	必	3	半期(前)		160工業
	設計・パフォーマンスⅥ	2	2	必	3	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅦ	2	2	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	研究・設計レビュー	1	1	必	3	四半期(後前)		コードなし
	特別研究・設計Ⅰ	1	1	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
	特別研究・設計Ⅱ	4	4	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
	ワークショップⅠ	1	1	必	1	半期(前)		コードなし
	ワークショップⅡ	3	3	必	1	半期(後)	集中講義	コードなし
	インターンシップⅠ	随時	2	選	4	四半期(前前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップⅡ	随時	2	選	4	四半期(前後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップⅢ	随時	2	選	4	四半期(後前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	インターンシップⅣ	随時	2	選	4	四半期(後後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	物理実験	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析
	職業指導	前(後)1	4	自	3	通年		160工業
	代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
	代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
	幾何学	1	2	自	3	半期(前)		111幾何
	微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)		111幾何
	解析学	1	2	自	3	半期(前)		112解析
	複素解析学Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)		112解析
	複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)		112解析
	数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピュ
	線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)		110代数
	微分方程式Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)		112解析
	確率・統計Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)		113確統
	確率・統計Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		113確統
	基 礎 共 通 科 目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ
線形代数学Ⅰ		1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
微分積分学および演習Ⅱ		2	4	選	1	半期(後)		112解析
線形代数学Ⅱ		1	2	選	1	半期(後)		110代数
物理学Ⅰ		1	2	選	1	半期(前)		コードなし
学 部 キ ャ リ ア 科 目	未来科学キャリアワークショップ	1	2	選	2	半期(前/後)	2年次のみ開講	コードなし
	未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講	コードなし
	未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし

(注) 他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	コンピュータ基礎および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)		基礎要件
	コンピュータ基礎および演習Ⅱ	2	4	必	1	半期(後)		114コンピュ
	熱環境	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築設計概論	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	光環境	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学演習Ⅰ	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	保存と再生	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	音環境	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築CAD	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	設計計画	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学Ⅱ	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	建築力学演習Ⅱ	1	1	必	2	半期(前)		160工業
	測量実習	2	2	選	2	半期(前)		160工業
	素材と構造デザイン	1	2	必	2	半期(前)		160工業
	都市計画	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	近代建築史	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	空気環境	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	木質構造	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	構法実習	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	地域施設計画	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	西洋建築史	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築設備概論	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築施工	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	材料・構造実験	2	2	選	3	半期(前)		160工業
	鉄筋コンクリート構造	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	建築材料	1	2	必	3	半期(前)		160工業
	アルゴリズムックデザイン	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	応力の可視化	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築法規	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築計画	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	建築都市デザイン	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	日本建築史	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	鉄骨構造	1	2	必	3	半期(後)		160工業
	まちづくり経営論	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	建築デザイン	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	建築技術史	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	熱・空調工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	弾塑性力学	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	コンピュータによる骨組解析	1	2	選	4	半期(前)		160工業
建築と数学	1	2	選	4	半期(前)		コードなし	
構造計画と設計	1	2	選	4	半期(後)		160工業	
建築音響・騒音制御工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
絵画	1	1	選	2	半期(前)		コードなし	
建築見学演習	1	1	選	2	半期(後)		160工業	
設計・パフォーマンスⅠ	4	4	必	1	半期(前)		160工業	

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

FA-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	設計・パフォーマンスⅡ	4	4	必	1	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅢ	4	4	必	2	半期(前)		160工業
	設計・パフォーマンスⅣ	4	4	必	2	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅤ	4	4	必	3	半期(前)		160工業
	設計・パフォーマンスⅥ	2	2	必	3	半期(後)		160工業
	設計・パフォーマンスⅦ	2	2	必	4	半期(前)		160工業
	研究・設計レビュー	1	1	必	3	四半期(後前)		コードなし
	特別研究・設計Ⅰ	1	1	必	4	半期(前)		コードなし
	特別研究・設計Ⅱ	4	4	必	4	半期(後)		コードなし
	ワークショップⅠ	1	1	必	1	半期(前)		コードなし
	ワークショップⅡ	3	3	必	1	半期(後)	集中講義	コードなし
	インターンシップⅠ	随時	2	選	4	四半期(前前)	集中講義	コードなし
	インターンシップⅡ	随時	2	選	4	四半期(前後)	集中講義	コードなし
	インターンシップⅢ	随時	2	選	4	四半期(後前)	集中講義	コードなし
	インターンシップⅣ	随時	2	選	4	四半期(後後)	集中講義	コードなし
	化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	物理実験	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析
	職業指導	前1後1	4	自	3	通年		160工業
	代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
	代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
	幾何学	1	2	自	3	半期(前)		111幾何
	微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)		111幾何
	解析学	1	2	自	3	半期(前)		112解析
	複素解析学Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)		112解析
	複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)		112解析
	数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピュ
	線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)		110代数
	微分方程式Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)		112解析
	確率・統計Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)		113確統
	確率・統計Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		113確統
	基 礎 共 通 科 目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ
線形代数学Ⅰ		1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
微分積分学および演習Ⅱ		2	4	選	1	半期(後)		112解析
線形代数学Ⅱ		1	2	選	1	半期(後)		110代数
物理学Ⅰ		1	2	選	1	半期(前)		コードなし

(注)他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

授業科目配当表 情報メディア学科

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
専門 教育 科目	スタートアップ・ゼミ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
	情報メディア概論	1	2	必	1	半期(前)		160工業
	コンピュータプラクティス	1	1	必	1	四半期(前前)		160工業
	プログラミング入門	2	2	必	1	四半期(前後)		114コンピュ
	メディア演習Ⅰ	2	2	必	1	半期(後)		160工業
	Webページ制作	1	1	必	1	四半期(前後)		160工業
	基礎情報数学A(離散数学)	1	1	必	1	四半期(後前)		114コンピュ
	情報科学の基礎	1	2	必	1	半期(後)		114コンピュ
	プログラミング基礎	2	4	必	1	半期(後)		基礎要件
	感性・情報イメージング	1	2	選	1	半期(前)		134情⑤
	人間中心設計	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	メディア演習Ⅱ	2	2	必	2	半期(前)		160工業
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	基礎情報数学B(確率論と情報理論)	1	2	選	2	半期(前)		113確統
	メディア処理の基礎数学(線形代数学Ⅲ)	1	2	選	2	半期(前)		110代数
	情報ネットワーク	1	2	選	2	半期(前)		133情④
	情報ネットワーク演習	1	1	選	2	半期(前)	集中講義	160工業
	データ記述とXML	2	2	選	2	四半期(後後)		160工業
	オペレーティングシステム	1	1	選	2	四半期(前前)		131情②
	形式言語とオートマトン	1	2	選	2	半期(前)		131情②
	オブジェクト指向プログラミングおよび演習	2	4	必	2	半期(前)		160工業
	メディア信号処理	1	1	選	2	四半期(前前)		160工業
	数理統計学	1	2	選	2	半期(後)		113確統
	データベース	1	2	選	2	半期(後)		132情③
	コンパイル	1	2	選	2	半期(後)		131情②
	論理回路とコンピュータ構成の基礎	1	2	選	2	半期(後)		131情②
	データ構造とアルゴリズム	1	2	必	2	半期(後)		160工業
	データ構造とアルゴリズム演習	1	2	選	2	半期(後)		132情③
	GUIプログラミング	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	コンピュータ音楽	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	映像表現演習	2	2	選	2	四半期(後前)		134情⑤
	メディアプログラミング演習	1	2	選	2	半期(後)		131情②
	情報メディア基礎ゼミ	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
	コンピュータアーキテクチャと機械語演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②
	情報技術基礎および演習	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	CGモデリングおよび演習	2	3	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	画像処理	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	コンピュータ音楽作品制作演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	人間情報システムおよび演習	1	2	選	34	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	ヒューマンインタラクションおよび演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	データベースプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③
	サーバ設計論	1	1	選	3	四半期(前前)	平成25年度開講せず	133情④
サーバプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
情報セキュリティの基礎と暗号技術	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
ソフトウェア設計	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	情報メディア応用ゼミ	2	4	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
	人工知能とコンピュータ	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	デジタルシステム設計および演習	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
	CGレンダリングおよび演習	2	3	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	音声・音響情報処理	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	画像処理演習	2	2	選	3	四半期(後前)	平成25年度開講せず	コードなし
	メディア情報学	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	情報アクセスと知的処理	1	1	選	34	四半期(後前)	平成25年度開講せず	132情③
	Web情報システム演習	2	2	選	3	四半期(後後)	平成25年度開講せず	132情③
	ネットワークプログラミング	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④
	ネットワークプログラミング演習	1	1	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④
	情報システム論	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③
	プログラミング言語論	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	形状処理および演習	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	コンピュータアニメーションおよび演習	2	2	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	バーチャルリアリティ	1	1	選	4	四半期(前前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	インタラクションデザイン	1	1	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	ネットワークセキュリティおよび演習	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④
	ソフトウェア分析・モデリング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③
	インターンシップ	随時	2	選	34	通年	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
	卒業研究A	前1後1	2	必	4	通年	2つのユニットの修了をもって、最終的な単位認定がされる/平成25年度開講せず	コードなし
	卒業研究B	前2後2	4	選	4	通年	単位修得することを推奨する/平成25年度開講せず	コードなし
	職業指導	前1後1	4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業
	代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
	代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
幾何学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何	
微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何	
解析学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピ	
微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		112解析	
複素解析学Ⅰ	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)		コードなし	
未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし	
未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし	

2011（平成23）年度カリキュラム
未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
専門 教育 科目	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	スタートアップ・ゼミ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
	情報メディア概論	1	2	選	1	半期(前)		160工業
	基礎情報数学A(離散数学)	1	2	必	1	半期(後)		114コンピュ
	CG・映像メディアの基礎	1	2	選	1	半期(後)		134情⑤
	CG制作演習	1	1	必	1	半期(前)		160工業
	映像制作実習	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	音制作実習	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	コンピュータリテラシ	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
	Webページ制作	1	1	必	1	四半期(前後)		160工業
	UNIXプラクティス	1	1	必	1	四半期(前前)		160工業
	プログラミング入門	2	2	必	1	四半期(前後)		114コンピュ
	情報科学の基礎	1	2	必	1	半期(後)		114コンピュ
	プログラミング基礎	2	4	選	1	半期(後)	基礎クラスは3コマ	131情②
	人間中心設計	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	ヒューマンインタフェースの基礎	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	基礎情報数学B(確率論と情報論)	1	2	選	2	半期(前)		113確統
	メディア処理のための基礎数学(線型代数学Ⅲ)	1	2	選	2	半期(前)		110代数
	オブジェクト指向プログラミング	2	2	選	2	半期(前前)	基礎クラスは3コマ	160工業
	クラスライブラリ基礎	2	2	選	2	半期(前後)	基礎クラスは3コマ	160工業
	セキュリティのための基礎数学(代数と暗号の数理)	1	2	選	2	半期(後)		110代数
	数理統計学	1	2	選	2	半期(後)		113確統
	メディア表現のためのデザイン演習	1	2	選	2	半期(前)		134情⑤
	メディア処理のための信号処理	1	1	選	3	四半期(前後)		160工業
	メディアゼミ	1	2	必	3	半期(後)		コードなし
情報ゼミ	1	2	必	3	半期(後)	択一必修	コードなし	
情報技術基礎	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
情報技術応用	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
卒業研究A(注1)	前1後1	2	必	4	通年		コードなし	
卒業研究B(注1・3)	前3後3	6	必	4	通年		コードなし	
卒業研究C(注1・2・3)	後3前3	6	必	34	年次継続		コードなし	
インターンシップ	随時	2	選	34	通年	集中講義	コードなし	

(注1) 卒業研究A、B、Cは2つのユニットの修了をもって、最終的な単位認定がされる
(注2) 卒業研究Cは前期末卒業予定者を対象としており、履修には学科長の許可が必要である(3年後期～4年前期の配当)
(注3) 3年で早期卒業する者は卒業研究Bを、3.5年で早期卒業をする者は卒業研究Cを、履修しなければならない

2011（平成23）年度カリキュラム
未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職
専門教育科目	コンピュータ音楽	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	音声・音響情報処理	1	2	選	3	半期(後)		134情⑤
	コンピュータ音楽制作実習	2	1	選	3	半期(前)		134情⑤
	コンピュータ音楽作品制作実習	2	1	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	画像処理	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	感性・情報イメージング	1	2	選	3	半期(前)		134情⑤
	バーチャルリアリティ	1	1	選	4	四半期(前前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	メディアアート	1	1	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	映像合成演習	2	1	選	3	四半期(後後)		160工業
	映像表現実習	2	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	コンピュータグラフィックス(モデリング)	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	コンピュータグラフィックス(レンダリング)	1	2	選	3	半期(前)		134情⑤
	コンピュータグラフィックス(アニメーション)	1	2	選	3	半期(後)		134情⑤
	形状デザイン	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	CGプログラミング(2次元CG)	1	1	選	2	半期(後)		131情②
	CGプログラミング(モデリング)	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	CGプログラミング(レンダリング)	1	1	選	3	半期(前)		134情⑤
	CGプログラミング(アニメーション)	2	2	選	3	四半期(後前)		134情⑤
	形式言語とオートマトン	1	2	選	2	半期(前)		131情②
	データ記述とXML	2	2	選	2	半期(後)		160工業
	知識・言語情報学	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	情報検索	1	1	選	3	四半期(後前)		132情③
	Web検索システム演習	2	2	選	3	四半期(後後)		132情③
	情報ネットワーク	1	2	選	2	半期(前)		133情④
	情報ネットワーク演習	1	1	選	2	半期(前)	集中講義	160工業
	ネットワークプログラミング	1	2	選	3	半期(後)		133情④
	ネットワークプログラミング演習	1	1	選	3	半期(後)		133情④
	サーバ設計論	1	1	選	3	四半期(前前)		133情④
	サーバプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)		133情④
	情報セキュリティの基礎と暗号技術	1	2	選	3	半期(前)		133情④
	ネットワークセキュリティ	1	1	選	4	四半期(前前)	平成25年度開講せず	133情④
	セキュリティ演習	1	1	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	133情④
	ユビキタスコンピューティング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	メディアコミュニケーション	1	2	選	3	半期(前)		160工業
GUIプログラミング	1	2	選	2	半期(後)		160工業	
クラスライブラリ応用	1	2	選	2	半期(後)		132情③	
ソフトウェア設計	1	2	選	3	半期(前)		132情③	
ソフトウェア分析・モデリング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	
情報システム論	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③	
ウィンドウズプログラミング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	
デジタルデータ学	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②	

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 3

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職	
専門教育科目	専門科目	コンパイラ	1	2	選	3	半期(後)		131情②
		プログラミング言語論	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		人間情報システム	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		視聴覚応用	1	1	選	3	四半期(前後)		160工業
		ヒューマンインタフェース	1	1	選	3	四半期(後後)		160工業
		オペレーティングシステム	1	1	選	2	四半期(前前)		131情②
		プロセッサと機械語	1	2	選	2	半期(後)		131情②
		論理回路	1	1	選	2	四半期(後前)		131情②
		コンピュータアーキテクチャ	1	1	選	2	四半期(後後)		131情②
		デジタルシステム設計	1	1	選	3	四半期(後前)		131情②
		デジタルシステム設計演習	1	2	選	3	半期(後)		131情②
		データベース	1	2	選	3	半期(前)		132情③
		データベースプログラミング	1	1	選	3	四半期(後後)		132情③
		データベース演習	1	1	選	3	四半期(後前)		160工業
	人工知能とコンピュータ	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
	教職関連科目	職業指導	前1後1	4	自	3	通年		160工業
		代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
		代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
		幾何学	1	2	自	3	半期(前)		111幾何
		微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)		111幾何
		解析学	1	2	自	3	半期(前)		112解析
		数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピュ
		微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		112解析
		複素解析学Ⅰ	1	2	自	3	半期(前)		112解析
		複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)		112解析
	学部キャリア科目	未来科学キャリアワークショップ	1	2	選	2	半期(前/後)	2年次のみ開講	コードなし
		未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講	コードなし
未来科学プロジェクトB		1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし	

(注)他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
専門 教育 科目	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	スタートアップ・ゼミ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
	情報メディア概論	1	2	選	1	半期(前)		160工業
	基礎情報数学A(離散数学)	1	2	必	1	半期(後)		114コンピ
	CG・映像メディアの基礎	1	2	選	1	半期(後)		134情⑤
	CG制作演習	1	1	必	1	半期(前)		160工業
	映像制作実習	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	音制作実習	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	コンピュータリテラシ	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
	Webページ制作	1	1	必	1	四半期(前後)		160工業
	UNIXプラクティス	1	1	必	1	四半期(前前)		160工業
	プログラミング入門	2	2	必	1	四半期(前後)		114コンピ
	情報科学の基礎	1	2	必	1	半期(後)		114コンピ
	プログラミング基礎	2	4	選	1	半期(後)	基礎クラスは3コマ	131情②
	人間中心設計	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	ヒューマンインタフェースの基礎	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		112解析
	基礎情報数学B(確率論と情報論)	1	2	選	2	半期(前)		113確統
	メディア処理のための基礎数学(線型代数学Ⅲ)	1	2	選	2	半期(前)		110代数
	オブジェクト指向プログラミング	2	2	選	2	半期(前前)	基礎クラスは3コマ	160工業
	クラスライブラリ基礎	2	2	選	2	半期(前後)	基礎クラスは3コマ	160工業
	セキュリティのための基礎数学(代数と暗号の数理)	1	2	選	2	半期(後)		110代数
	数理統計学	1	2	選	2	半期(後)		113確統
	メディア表現のためのデザイン演習	1	2	選	2	半期(前)		134情⑤
	メディア処理のための信号処理	1	1	選	3	四半期(前後)		160工業
	メディアゼミ	1	2	必	3	半期(後)	択一必修	コードなし
情報ゼミ	1	2	必	3	半期(後)		コードなし	
情報技術基礎	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
情報技術応用	1	2	選	4	半期(後)		160工業	
卒業研究A(注1)	前1後1	2	必	4	通年		コードなし	
卒業研究B(注1・3)	前3後3	6	必	4	通年	択一必修	コードなし	
卒業研究C(注1・2・3)	後3前3	6	必	34	年次継続		コードなし	
インターンシップ	随時	2	選	34	通年	集中講義	コードなし	

(注1) 卒業研究A、B、Cは2つのユニットの修了をもって、最終的な単位認定がされる

(注2) 卒業研究Cは前期末卒業予定者を対象としており、履修には学科長の許可が必要である(3年後期～4年前期の配当)

(注3) 3年で早期卒業する者は卒業研究Bを、3.5年で早期卒業をする者は卒業研究Cを、履修しなければならない

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	コンピュータ音楽	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	音声・音響情報処理	1	2	選	3	半期(後)		134情⑤
	コンピュータ音楽制作実習	2	1	選	3	半期(前)		134情⑤
	コンピュータ音楽作品制作実習	2	1	選	4	四半期(前後)		134情⑤
	画像処理	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	感性・情報イメージング	1	2	選	3	半期(前)		134情⑤
	バーチャルリアリティ	1	1	選	4	四半期(前前)		134情⑤
	メディアアート	1	1	選	4	四半期(前後)		134情⑤
	映像合成演習	2	1	選	3	四半期(後後)		160工業
	映像表現実習	2	2	選	4	半期(後)		134情⑤
	コンピュータグラフィックス(モデリング)	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	コンピュータグラフィックス(レンダリング)	1	2	選	3	半期(前)		134情⑤
	コンピュータグラフィックス(アニメーション)	1	2	選	3	半期(後)		134情⑤
	形状デザイン	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	CGプログラミング(2次元CG)	1	1	選	2	半期(後)		131情②
	CGプログラミング(モデリング)	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
	CGプログラミング(レンダリング)	1	1	選	3	半期(前)		134情⑤
	CGプログラミング(アニメーション)	2	2	選	3	四半期(後前)		134情⑤
	形式言語とオートマトン	1	2	選	2	半期(前)		131情②
	データ記述とXML	2	2	選	2	半期(後)		160工業
	知識・言語情報学	1	2	選	4	半期(後)		160工業
	情報検索	1	1	選	3	四半期(後前)		132情③
	Web検索システム演習	2	2	選	3	四半期(後後)		132情③
	情報ネットワーク	1	2	選	2	半期(前)		133情④
	情報ネットワーク演習	1	1	選	2	半期(前)	集中講義	160工業
	ネットワークプログラミング	1	2	選	3	半期(後)		133情④
	ネットワークプログラミング演習	1	1	選	3	半期(後)		133情④
	サーバ設計論	1	1	選	3	四半期(前前)		133情④
	サーバプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)		133情④
	情報セキュリティの基礎と暗号技術	1	2	選	3	半期(前)		133情④
	ネットワークセキュリティ	1	1	選	4	四半期(前前)		133情④
	セキュリティ演習	1	1	選	4	四半期(前後)		133情④
	ユビキタスコンピューティング	1	2	選	4	半期(前)		160工業
	メディアコミュニケーション	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	GUIプログラミング	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	クラスライブラリ応用	1	2	選	2	半期(後)		132情③
	ソフトウェア設計	1	2	選	3	半期(前)		132情③
	ソフトウェア分析・モデリング	1	2	選	4	半期(前)		132情③
	情報システム論	1	2	選	4	半期(後)		132情③
	ウィンドウズプログラミング	1	2	選	4	半期(前)		132情③
	デジタルデータ学	1	2	選	4	半期(後)		131情②

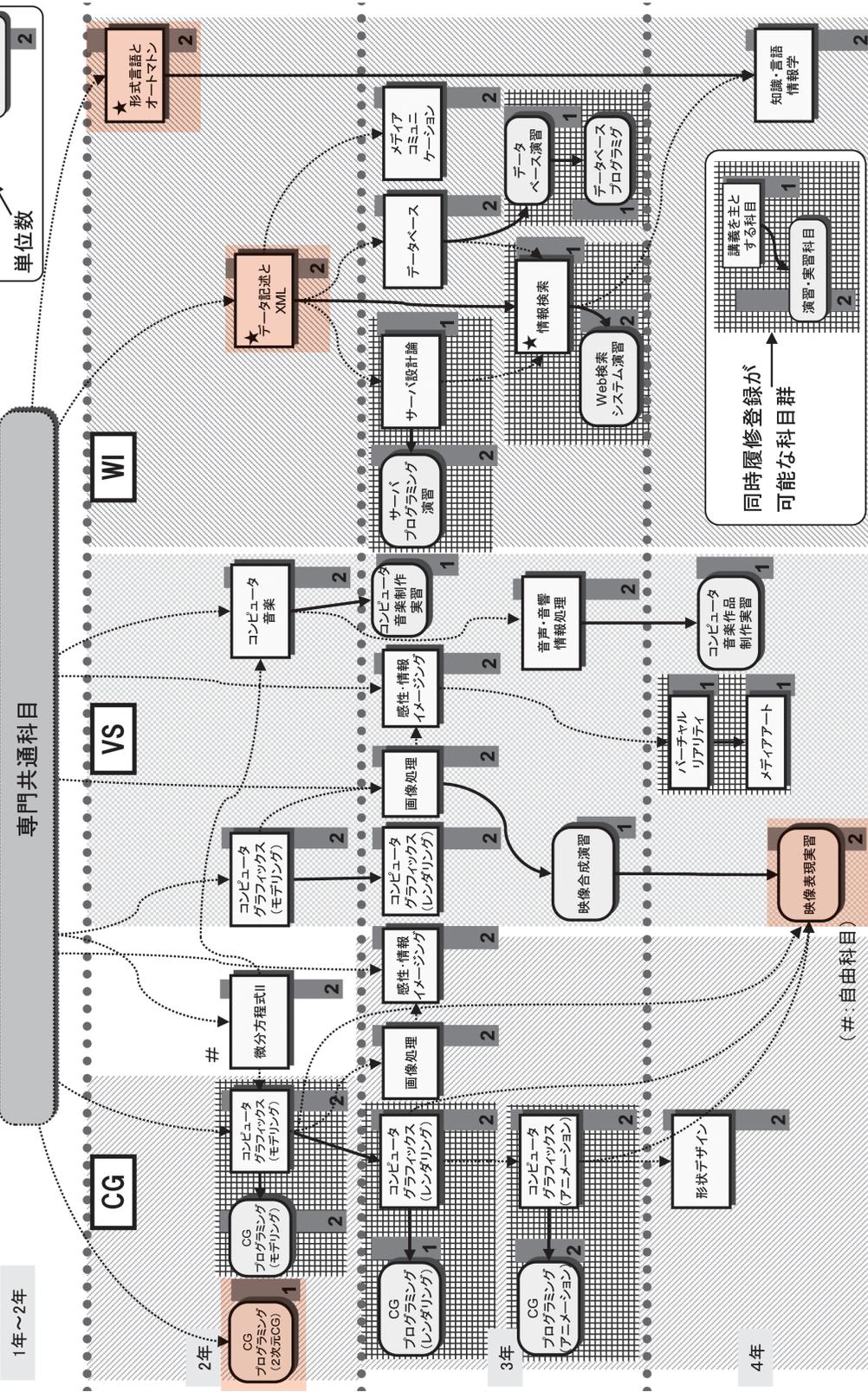
2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 3

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専門教育科目	専門科目	コンバイラ	1	2	選	3	半期(後)	131情②
		プログラミング言語論	1	2	選	3	半期(後)	160工業
		人間情報システム	1	2	選	3	半期(前)	160工業
		視聴覚応用	1	1	選	3	四半期(前後)	160工業
		ヒューマンインタフェース	1	1	選	3	四半期(後後)	160工業
		オペレーティングシステム	1	1	選	2	四半期(前前)	131情②
		プロセッサと機械語	1	2	選	2	半期(後)	131情②
		論理回路	1	1	選	2	四半期(後前)	131情②
		コンピュータアーキテクチャ	1	1	選	2	四半期(後後)	131情②
		デジタルシステム設計	1	1	選	3	四半期(後前)	131情②
		デジタルシステム設計演習	1	2	選	3	半期(後)	131情②
		データベース	1	2	選	3	半期(前)	132情③
		データベースプログラミング	1	1	選	3	四半期(後後)	132情③
		データベース演習	1	1	選	3	四半期(後前)	160工業
	人工知能とコンピュータ	1	2	選	4	半期(前)	160工業	
	教職関連科目	職業指導	前1後1	4	自	3	通年	160工業
		代数学入門	1	2	自	1	半期(後)	110代数
		代数学	1	2	自	2	半期(後)	110代数
		幾何学	1	2	自	3	半期(前)	111幾何
		微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	111幾何
解析学		1	2	自	3	半期(前)	112解析	
	数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義 114コンピュ	
	微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)	112解析	
	複素解析学Ⅰ	1	2	自	3	半期(前)	112解析	
	複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)	112解析	

(注)他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

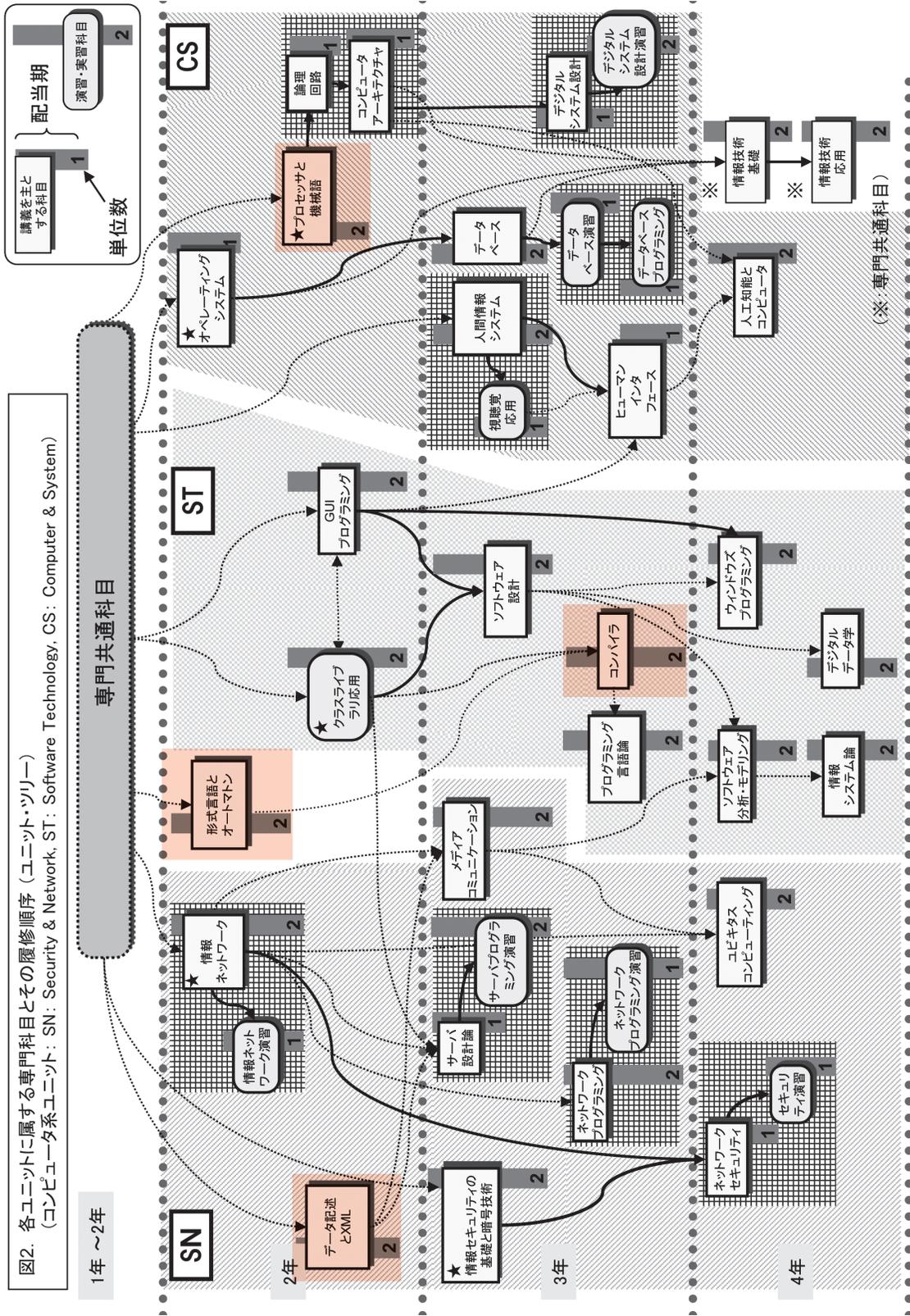
図1. 各ユニットに属する専門科目とその履修順序 (ユニット・ツリー)
 (メディア系ユニット: CG: Computer Graphics, VS: Video & Sound, WI: Web Intelligence)



(#: 自由科目)

実線矢印: 矢印の先の科目を履修するためには、矢印の根元の科目が履修済でなくてはならない
 点線矢印: 矢印の先の科目を履修する前に、矢印の根元の科目を履修しておくことを推奨する
 なお、それぞれのユニットの網掛け内の科目の内、★印は「ユニット専門科目(必修)」、それ以外が「ユニット専門科目(選択)」である

図2. 各ユニットに属する専門科目とその履修順序 (ユニット・ツリー)
 (コンピュータ系ユニット: SN: Security & Network, ST: Software Technology, CS: Computer & System)



実線矢印: 矢印の先の科目を履修するためには、矢印の根元の科目が履修済でなくてはならない
 点線矢印: 矢印の先の科目を履修する前に、矢印の根元の科目を履修しておくことを推奨する
 なお、それぞれのユニットの網掛け内の科目の内、★印は「ユニット専門科目(必修)」、それ以外が「ユニット専門科目(選択)」である

授業科目配当表
ロボット・メカトロニクス学科

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-1

区分	分野	連続コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職	
専門教育科目	基礎共通	P	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし	
		P	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし	
			線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数	
			微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析	
	共通基礎	P	物理学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし	
			化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
			物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし	
		P	立体認識・基礎製図	2	4	必	1	半期(前)		160工業	
		P	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件	
		P	機械要素・機構学	1	2	必	1	半期(後)		160工業	
		P	電気磁気学	1	2	必	1	半期(後)		160工業	
		P	プログラム基礎Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		131情②	
		P	基礎制御工学および演習	2	4	必	1	半期(後)		112解析	
		専門数学	R1	集合と論理	1	2	選	2	半期(前)		114コンピュ
	R1		離散数学	1	2	選	2	半期(後)		114コンピュ	
	R1		ベクトル解析	1	2	選	2	半期(前)		112解析	
	R1		フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析	
	R1		確率・統計Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		113確統	
	R1		複素解析学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
	R2		確率・統計Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		113確統	
	R2		複素解析学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	R2		数値解析	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②	
	R2		メカトロニクスのための数学および演習	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	R2		最適化法	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	電気		R1	基礎電気工学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
			R1	電気回路	1	2	選	2	半期(後)		160工業
			R2	電子工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
		R2	デジタル回路	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②	
		R2	信号処理	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤	
	機械	R1	メカトロニクス基礎力学および演習Ⅰ	2	3	選	2	半期(前)		160工業	
		R1	ロボット運動学	1	2	選	2	半期(前)		160工業	
		R1	メカトロニクス基礎力学および演習Ⅱ	2	3	選	2	半期(後)		160工業	
		R1	設計製図Ⅰ	2	4	選	2	半期(後)		160工業	
		R2	材料力学および演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
		R2	加工学	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
		R2	熱・流体力学	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
		情報	R1	プログラム基礎Ⅱ	1	2	選	2	半期(前)		131情②
	R1		プログラム基礎Ⅲ	1	2	選	2	半期(後)		132情③	
	R2		情報理論	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
	R2		アルゴリズムとデータ構造	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②	
	R2		オペレーティングシステム	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③	
	制御	R1	システムモデリングおよび演習	2	4	選	2	半期(前)		160工業	
		R1	制御工学および演習	2	4	選	2	半期(後)		160工業	
		R2	計測工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
R2		制御系設計	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業		
R2		現代制御理論	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業		

2012（平成24）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-2

区分	分野	連続コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職	
専門教育科目	統合		システム同定	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
			ロボットセンシング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
			コンピュータネットワーク	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
			コンピュータシミュレーション	1	2	選	4	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	134情⑤	
			パワーエレクトロニクス	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤	
			デジタル制御	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤	
			事象駆動システム	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	
			設計製図Ⅱ	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
			ロボット動力学	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
			ロボットインターフェース	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④	
	実験・実習			物理実験	2	1	選	1	半期(前/後)	メカトロニクス基礎実験Ⅰ(必修)の前提条件	コードなし
				ワークショップ	2	2	選	1	半期(前/後)	メカトロニクス基礎実験Ⅰ(必修)の前提条件	コードなし
		P		メカトロニクス基礎実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)		134情⑤
		P		メカトロニクス基礎実験Ⅱ	2	2	必	2	半期(後)		160工業
		P		メカトロニクス総合実験Ⅰ	2	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④
		P		メカトロニクス総合実験Ⅱ	2	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
				メカトロニクス設計製作Ⅰ	2	1	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
				メカトロニクス設計製作Ⅱ	2	1	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	プロジェクト・研究	P		STゼミⅠA	1	1	必	1	四半期(前前)		コードなし
		P		STゼミⅠB	1	1	必	1	四半期(後前)		コードなし
		P		STゼミⅡA	1	1	必	2	四半期(前後)		コードなし
		P		STゼミⅡB	1	1	必	2	四半期(後後)		コードなし
		P		STゼミⅢ	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
		P		メカトロニクス輪講	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
				卒業研究Ⅰ	3	3	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
				卒業研究Ⅱ	3	3	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
	専門教養			英語で学ぶ数学と物理Ⅰ	1	1	選	1	四半期(前前)		コードなし
				英語で学ぶ数学と物理Ⅱ	1	1	選	1	四半期(後前)		コードなし
	教職関連科目			代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
				代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
				微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		112解析
				数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コニュ
				線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)		110代数
				幾何学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何
				微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何
				解析学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析
				職業指導	前1後1	4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業
				メカトロニクス学	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	キャリア教育	P		インターンシップ	随時	2	選	34	通年	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし
				企業研究Ⅰ	1	1	選	3	四半期(前前)	平成25年度開講せず	コードなし
				企業研究Ⅱ	1	1	選	3	四半期(後前)	平成25年度開講せず	コードなし
		P		未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)		コードなし
			未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし	
		未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし		

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-1

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職	
専門教育科目	基礎共通	P	微積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし	
		P	物理学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし	
			線形代数学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし	
			線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数	
			微積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析	
			化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
	専門基礎			物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
		P	ロボットメカトロニクス概論	1	2	必	1	半期(前)		160工業	
		P	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件	
		P	プログラム基礎Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		131情②	
		P	情報基礎数学	1	2	必	1	半期(前)		114コンピュ	
		P	ロボットメカトロニクス基礎	1	2	必	1	半期(前)		160工業	
		P	ロボットメカトロニクス基礎演習	1	2	必	1	半期(前)		160工業	
		P	プログラム基礎Ⅱ	2	4	必	2	半期(前)		131情②	
		P	システム基礎数学	1	2	必	2	半期(前)		112解析	
		P	情報数学	1	2	必	2	半期(後)		114コンピュ	
		P	ロボメカのための力学	1	2	必	2	半期(後)		160工業	
		R1 R2 R3	科学技術のための基礎数学	1	2	選	1	半期(前)		114コンピュ	
		R1 R2 R3	科学技術のための数学	1	2	選	1	半期(後)		112解析	
		R1 R2 R3	基礎電気工学	1	2	選	1	半期(前)		160工業	
		専門コア	R1	システムモデリング	1	2	選	2	半期(前)		160工業
			R1	システムアナロジ	1	2	選	2	半期(後)		160工業
			R2	電気回路	1	2	選	2	半期(後)		160工業
			R3	ロボット運動学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
			R1	制御工学	1	2	選	2	半期(後)		160工業
			R2	計測工学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
			R2	ディジタル回路	1	2	選	2	半期(前)		131情②
	R3		ロボット機構学	1	2	選	2	半期(後)		160工業	
	R3		材料加工学Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		160工業	
	情報駆動		R1	数値解析	1	2	選	3	半期(前)		131情②
		R1	システム制御理論	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
		R1	ロボメカのための数学	1	2	選	3	半期(後)		112解析	
		R1	事象駆動システム	1	2	選	3	半期(後)		160工業	
			コンピュータネットワーク	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
			コンピュータグラフィックス	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤	
			最適化法	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
			アドバンスドコントロール	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-2

区分	分野	准 級 コ ー ド	科 目 名	コ マ	単 位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職
専 門 教 育 科 目	メ カ ト ロ ニ ク ス	R2	電子工学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		R2	情報理論	1	2	選	3	半期(前)		133情④
		R2	アルゴリズムとデータ構造	1	2	選	3	半期(前)		131情②
		R2	デジタル情報	1	2	選	3	半期(後)	集中講義	134情⑤
			信号処理	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
			アドバンスメカトロニクス	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			システムと信号	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			測定基礎論	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			インフォメーションインターフェース	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③
	ロ ボ ッ ト デ ザ イ ン	R3	材料力学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		R3	材料加工学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		R3	ロボット制御学	1	2	選	3	半期(後)		160工業
			ロボットインターフェース	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④
			ロボットプランニング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			エネルギー変換学	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			ロボットビジョン	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
			ロボット設計論	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	専 門 数 学	R4	ベクトル解析	1	2	選	2	半期(前)		112解析
		R4	確率・統計Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		113確統
		R4	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析
		R4	確率・統計Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		113確統
		R4	複素解析学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		112解析
		R4	複素解析学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		112解析
	演 習 ・ 実 験	P	ロボットメカトロニクス演習A	1	2	必	2	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習B	1	2	必	2	半期(後)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習C	1	2	必	2	半期(後)		132情③
		P	ロボットメカトロニクス演習D	1	2	必	2	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習E	2	2	必	3	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習F	1	2	必	3	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習G	2	2	必	3	半期(後)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習H	1	2	必	3	半期(後)		132情③
			物理実験Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
			物理実験Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)		コードなし
			ワークショップⅠ	2	1	選	1	半期(前)		コードなし
			ワークショップⅡ	2	1	選	1	半期(後)		コードなし
		P	ロボットメカトロニクス基礎実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)		134情⑤
		P	ロボットメカトロニクス基礎実験Ⅱ	2	2	必	2	半期(後)		160工業
	P	ロボットメカトロニクス総合実験Ⅰ	2	2	必	3	半期(前)		133情④	
	P	ロボットメカトロニクス総合実験Ⅱ	2	2	必	3	半期(後)		160工業	
	ロボットメカトロニクス設計製作Ⅰ	2	1	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業		
	ロボットメカトロニクス設計製作Ⅱ	2	1	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業		

2011（平成23）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-3

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職	
専門教育科目	プロジェクト・研究	P	STゼミⅠA	1	1	必	1	四半期(前前)		コードなし	
		P	STゼミⅠB	1	1	必	1	四半期(後前)		コードなし	
		P	STゼミⅡA	1	1	必	2	四半期(前後)		コードなし	
		P	STゼミⅡB	1	1	必	2	四半期(後後)		コードなし	
		P	STゼミⅢ	1	2	必	3	半期(前)		コードなし	
		P	ロボットメカトロニクス輪講	1	2	必	3	半期(後)		コードなし	
			特別研究Ⅰ	3	3	必	3	半期(前)	早期卒業者対象	コードなし	
			特別研究Ⅱ	3	3	必	3	半期(後)	早期卒業者対象	コードなし	
			卒業研究Ⅰ	3	3	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし	
			卒業研究Ⅱ	3	3	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
	専門教養			特別講義A	1	1	選	1	四半期(前前)		コードなし
				特別講義B	1	1	選	1	四半期(後前)		コードなし
				特別講義C	1	1	選	2	四半期(後前)		コードなし
				特別講義D	1	1	選	2	四半期(後後)		コードなし
				特別講義E	1	1	選	3	四半期(前前)		コードなし
				特別講義F	1	1	選	3	四半期(前後)		コードなし
				インターンシップ		随時	2	選	34	通年	集中講義
	教職関連科目			代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
				代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
				微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		112解析
				数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピュ
				線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)		110代数
				幾何学	1	2	自	3	半期(前)		111幾何
				微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)		111幾何
				解析学	1	2	自	3	半期(前)		112解析
				職業指導		前1後1	4	自	3	通年	
	学部キャリア教育			未来科学キャリアワークショップ	1	2	選	2	半期(前/後)	2年次のみ開講	コードなし
			未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講	コードなし	
			未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし	

(注)他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-1

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当 期	備考	教職
専門教育科目	基礎共通	P	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
		P	物理学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
			線形代数学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
			線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
			微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
			化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
			物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
	専門基礎	P	ロボットメカトロニクス概論	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		P	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
		P	プログラム基礎Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		131情②
		P	情報基礎数学	1	2	必	1	半期(前)		114コンピュ
		P	ロボットメカトロニクス基礎	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス基礎演習	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		P	プログラム基礎Ⅱ	2	4	必	2	半期(前)		131情②
		P	システム基礎数学	1	2	必	2	半期(前)		112解析
		P	情報数学	1	2	必	2	半期(後)		114コンピュ
		P	ロボメカのための力学	1	2	必	2	半期(後)		160工業
		R1 R2 R3	科学技術のための基礎数学	1	2	選	1	半期(前)		114コンピュ
		R1 R2 R3	科学技術のための数学	1	2	選	1	半期(後)		112解析
		R1 R2 R3	基礎電気工学	1	2	選	1	半期(前)		160工業
		R1 R2 R3	システムモデリング	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		R1 R2 R3	システムアナログ	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		R2 R3	電気回路	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		R3	ロボット運動学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		R1 R2 R3	制御工学	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		R2 R3	計測工学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		R2 R3	デジタル回路	1	2	選	2	半期(前)		131情②
		R3	ロボット機構学	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	R3	材料加工学Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		160工業	
	情報駆動	R1	数値解析	1	2	選	3	半期(前)		131情②
		R1	システム制御理論	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		R1	ロボメカのための数学	1	2	選	3	半期(後)		112解析
		R1	事象駆動システム	1	2	選	3	半期(後)		160工業
			コンピュータネットワーク	1	2	選	4	半期(前)		133情④
			コンピュータグラフィックス	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤
			最適化法	1	2	選	4	半期(前)		112解析
			アドバンスドコントロール	1	2	選	4	半期(後)		160工業

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-2

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当 期	備考	教職
専門教育科目	メカトロニクス	R2	電子工学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		R2	情報理論	1	2	選	3	半期(前)		133情④
		R2	アルゴリズムとデータ構造	1	2	選	3	半期(前)		131情②
		R2	デジタル情報	1	2	選	3	半期(後)	集中講義	134情⑤
			信号処理	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤
			アドバンスメカトロニクス	1	2	選	4	半期(前)		160工業
			システムと信号	1	2	選	4	半期(後)		160工業
			測定基礎論	1	2	選	4	半期(後)		160工業
			インフォメーションインターフェース	1	2	選	4	半期(後)		132情③
			R3	材料力学	1	2	選	3	半期(前)	
	ロボットデザイン	R3	材料加工学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		R3	ロボット制御学	1	2	選	3	半期(後)		160工業
			ロボットインターフェース	1	2	選	4	半期(前)		133情④
			ロボットプランニング	1	2	選	4	半期(前)		160工業
			エネルギー変換学	1	2	選	4	半期(後)		160工業
			ロボットビジョン	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤
			ロボット設計論	1	2	選	4	半期(前)		160工業
		専門数学	R4	ベクトル解析	1	2	選	2	半期(前)	
	R4		確率・統計Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		113確統
	R4		フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)		112解析
	R4		確率・統計Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		113確統
	R4		複素解析学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		112解析
	R4		複素解析学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		112解析
	演習・実験	P	ロボットメカトロニクス演習A	1	2	必	2	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習B	1	2	必	2	半期(後)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習C	1	2	必	2	半期(後)		132情③
		P	ロボットメカトロニクス演習D	1	2	必	2	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習E	2	2	必	3	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習F	1	2	必	3	半期(前)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習G	2	2	必	3	半期(後)		160工業
		P	ロボットメカトロニクス演習H	1	2	必	3	半期(後)		132情③
			物理実験Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)		コードなし
			物理実験Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)		コードなし
			ワークショップⅠ	2	1	選	1	半期(前)		コードなし
			ワークショップⅡ	2	1	選	1	半期(後)		コードなし
		P	ロボットメカトロニクス基礎実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)		134情⑤
		P	ロボットメカトロニクス基礎実験Ⅱ	2	2	必	2	半期(後)		160工業
	P	ロボットメカトロニクス総合実験Ⅰ	2	2	必	3	半期(前)		133情④	
	P	ロボットメカトロニクス総合実験Ⅱ	2	2	必	3	半期(後)		160工業	
		ロボットメカトロニクス設計製作Ⅰ	2	1	必	4	半期(前)		160工業	
	ロボットメカトロニクス設計製作Ⅱ	2	1	必	4	半期(後)		160工業		

2008（平成20）～2010（平成22）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-3

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専門教育科目	プロジェクト・研究	P	STゼミⅠA	1	1	必	1	四半期(前前)		コードなし
		P	STゼミⅠB	1	1	必	1	四半期(後前)		コードなし
		P	STゼミⅡA	1	1	必	2	四半期(前後)		コードなし
		P	STゼミⅡB	1	1	必	2	四半期(後後)		コードなし
		P	STゼミⅢ	1	2	必	3	半期(前)		コードなし
		P	ロボットメカトロニクス輪講	1	2	必	3	半期(後)		コードなし
			特別研究Ⅰ	3	3	必	3	半期(前)	早期卒業生対象	コードなし
			特別研究Ⅱ	3	3	必	3	半期(後)	早期卒業生対象	コードなし
			卒業研究Ⅰ	3	3	必	4	半期(前)		コードなし
			卒業研究Ⅱ	3	3	必	4	半期(後)		コードなし
	専門教養		特別講義A	1	1	選	1	四半期(前前)		コードなし
			特別講義B	1	1	選	1	四半期(後前)		コードなし
			特別講義C	1	1	選	2	四半期(後前)		コードなし
			特別講義D	1	1	選	2	四半期(後後)		コードなし
			特別講義E	1	1	選	3	四半期(前前)		コードなし
			特別講義F	1	1	選	3	四半期(前後)		コードなし
			インターンシップ		随時	2	選	34	通年	集中講義
	教職関連科目		代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数
			代数学	1	2	自	2	半期(後)		110代数
			微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)		112解析
			数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義	114コンピ
			線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)		110代数
			幾何学	1	2	自	3	半期(前)		111幾何
			微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)		111幾何
		解析学	1	2	自	3	半期(前)		112解析	
		職業指導		前1後1	4	自	3	通年		160工業

(注)他学科からの履修者を広く受け入れる「分野総合教育科目」については学生要覧を参照してください。

第3章 学則および諸規程

赤網掛け部分が変更点です。

1 東京電機大学 学則

第1章 総 則

第1条（目的・使命） 本大学は、学校教育法による最高の教育機関として、民主的社会人としての教養を涵養するとともに、深く専門の学芸を教授・研究し、その知的道徳的能力を展開させ、もって優秀な人材を養成することを目的とする。

2 本大学は、第3条第1項に定める学部及び学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部の学部規則に定める。

第2条（自己評価等） 本大学においては、教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価は、その趣旨に則して適切な項目を設定し、かつ適切な体制のもとに行う。

3 本大学は、第1項の点検及び評価の結果について、学外者による検証を行うよう努めるものとする。

4 本大学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 組 織

第3条（学部・学科の組織） 本大学に、次の学部及び学科を置く。

工学部	工学部第二部	理工学部	情報環境学部	未来科学部
電気電子工学科	電気電子工学科	理工学科	情報環境学科	建築学科
環境化学科	機械工学科			情報メディア学科
機械工学科	情報通信工学科			ロボット・メカトロニクス学科
情報通信工学科				

2 前項の各学科の入学定員、編入学定員および収容定員は、別表第1とする。

3 第1項に定める各学部に学部規則を定める。

4 前項の学部規則に、次の事項を定める。

- ① 学部・学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
- ② 学年・学期に関する事項
- ③ 教育課程及び単位に関する事項
- ④ 成績及び卒業に関する事項
- ⑤ その他、大学則施行上の必要事項

第4条（大学院） 本大学に、大学院を置く。大学院に関する規則は別に定める。

第5条（総合メディアセンター・研究推進社会連携センター等） 本大学に、総合メディアセンターを置く。

- 2 本大学に、研究推進社会連携センターを置く。
 - ① 研究推進社会連携センターに、総合研究所を置く。
- 3 本大学に、国際センターを置く。
- 4 前2項のほか、実習工場、その他教育・研究に必要な施設を置く。

第3章 運営の機関及び教職員

第6条（学長・学部長等） 本大学に、学長を置く。学長は、校務をつかさどり、大学を代表する。学長の選出に関する規則は、別に定める。

- 2 各学部、学部長を置く。学部長は当該学部に関する学務をつかさどる。
- 3 前2項のほか、教育・研究の運営上必要な職を置く。

第7条（職員） 教育職員として、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

- 2 事務職員、技術職員及び必要な職員を置く。

第8条（学部教授会） 各学部、教授会を置く。

- 2 教授会は、その学部の教授をもって組織する。ただし、必要があるときは、その学部の准教授及び専任の講師を、教授会構成員とすることができる。
- 3 教授会は、学部長が招集する。

第9条（連合・合同教授会） 工学部及び工学部第二部については、その連合教授会をひらくことができる。

- 2 学長は、全学部の合同教授会を招集することができる。

第10条（審議事項） 教授会は、その学部に関する次の事項を審議する。

- ① 学生の入学・進級・卒業・休学・退学等に関する事項
 - ② 学位授与に関する事項
 - ③ 教育課程及び授業に関する事項
 - ④ 履修・試験・成績等に関する事項
 - ⑤ 学生の厚生補導及び賞罰に関する事項
 - ⑥ 大学則及び学部規則の改正に関する事項
 - ⑦ 学部長の推挙に関する事項
 - ⑧ 学科長及び系列主任の選定に関する事項
 - ⑨ 教授、准教授、講師、助教及び助手の人事に関する事項
 - ⑩ 学部長が諮問した事項
 - ⑪ その他教育・研究に関する事項
- 2 教授会は、大学全般にわたるもしくは各学部に通ずる次の事項を審議する。ただし、必要があるときは、合同教授会においてこれを審議する。
 - ① 学長の推挙に関する事項
 - ② 学長室長、学長補佐、教育改善推進室長、入試センター長、学生支援センター長、国際センター長、研究推進社会連携センター長及び総合メディアセンター長の選定に関する事項

- ③ 学長が諮問した事項
- ④ その他の重要な事項

第4章 修学期間及び授業

第11条（修業年限） 修業年限は、4年とする。

第12条（最長在学年限） 最長在学年限は、8年とする。ただし、編入学、転入学及び再入学した者の最長在学年限は、その者の在学すべき年数の2倍に相当する年数とする。

第13条（学年・学期・授業期間） 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

- 2 学年を前学期及び後学期に分け、その期間については各学部において定める。
- 3 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。
- 4 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

第14条（休業日） 休業日は、次の通りとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

創立記念日 9月11日

夏季休業

冬季休業

春季休業

- 2 夏季休業、冬季休業及び春季休業の期間については、各学部においてその都度定める。
- 3 必要があるときは、休業日を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。
- 4 休業中でも、特別の必要があるときは、授業を行うことがある。

第15条（授業の時） 工学部、理工学部、情報環境学部及び未来科学部は昼間に、工学部第二部は夜間に、授業を行う。

第5章 教育課程及び単位

第16条（教育課程の編成方針） 本大学においては、学部及び学科または課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

- 2 教育課程の編成に当たっては、当該学部及び学科に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。
- 3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
- 4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

第 17 条（授業科目） 授業科目については、各学部規則において定める。

- 2 各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、各年次に配当して編成する。ただし、自由科目の単位数は、卒業に必要な単位数に算入しない。
- 3 共通教育科目として、特定の主題について2以上の科学の分野にわたる内容を総合した科目を設けることができる。

第 18 条（履修の要件） 履修の要件については、各学部規則において定める。

- 2 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間または1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、各学部において定めるものとする。
- 3 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生について、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認定することについては、各学部において定めるものとする。

第 19 条（他学部等の科目履修） 本大学の学生が所属する学部の他学科または他学部の学科において履修し、修得した授業科目の単位のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、当該学生が所属する学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項により修得したものとみなすことのできる科目及び単位数等は、各学部において定めるものとする。

第 20 条（教員の免許状授与の所要の資格の取得） 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教職に関する科目及び必要な授業科目を修得しなければならない。

- 2 本大学において取得できる免許状の種類は別表第2とし、教職課程に関する科目及び必要な授業科目は各学部規則において定める。

第 21 条（単位の算定基準） 各授業科目の単位数は、各学部教授会において定めるものとする。

- 2 授業科目の単位数の算定に当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、原則として、授業の方法に応じ、次のとおり単位数を計算するものとする。
 - ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
 - ② 実験、実習、製図及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を考慮して単位数を定めることができる。

第6章 試験、成績、進級、卒業及び学位授与

第 22 条（履修届） 学生は、履修する授業科目につき、指定の期限までに、履修届を提出しなければならない。

第 23 条（試験） 授業科目の履修終了の認定のため、試験を行う。ただし、授業科目によっては、平常の成績をもって試験に代えることができる。

第 24 条（試験の方法・時期） 試験は、筆記、口述、または論文審査等の方法により行う。

- 2 試験の時期は、学期末とする。ただし、必要があるときは、その他の時期においても行う

ことができる。

第 25 条（受験資格） 学生は、本学則及びこれに基づいて定められた規則に従って履修した授業科目についてのみ、試験を受けることができる。

第 26 条（成績評価・単位認定） 授業科目の成績評価は、S、A、B、C及びDとし、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。

2 合格した授業科目については、その授業科目について定められた単位を与える。

3 本学は、第 1 項に係る成績評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行なうものとする。

第 27 条（他の大学等における授業科目の履修等） 本大学の学生が本大学に入学した後に他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、60 単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、本大学の学生が、外国の大学または短期大学に留学する場合及び外国の大学または短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第 28 条（大学以外の教育施設等における学修） 本大学の学生が行う短期大学または高等専門学校等の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、教授会が教育上有益と認めたものは、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本大学において修得したものとしてみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 29 条（入学前の既修得単位等の認定） 本大学の学生が本大学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生によって修得した単位を含む。）のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学の学生が本大学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、教授会が教育上有益と認めたものは、本大学における履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合をのぞき、本大学において修得した単位以外のものについては、前々条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 30 条（進級） 本大学においては、学生の単位修得の状況を考慮し、上級学年次に進みその学年次に配当された授業科目を履修するための条件を定めることができる。

2 前項の条件をみたさない者は、原学年次に留年する。

第 31 条（卒業） 本大学は、4 年以上在学し、学生が所属する学部における履修要件を満たした者を卒業と認定する。

2 本大学が文部科学大臣の定めるところにより、本大学の学生として 3 年以上在学した者（これに準ずるものとして文部科学大臣が定めるものを含む。）で、卒業の要件として本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合の卒業の取扱いは、前項の規定にかかわら

ず、別に定める。

第 32 条（学位の授与） 本大学を卒業した者には、学士の学位を授与する。

2 前項の学士の学位に付記する名称は、次のとおりとする。

工学部	電気電子工学科	学士（工学）（東京電機大学）
	環境化学科	学士（工学）（東京電機大学）
	機械工学科	学士（工学）（東京電機大学）
	情報通信工学科	学士（工学）（東京電機大学）
工学部第二部	電気電子工学科	学士（工学）（東京電機大学）
	機械工学科	学士（工学）（東京電機大学）
	情報通信工学科	学士（工学）（東京電機大学）
理工学部	理工学科	学士（理学）（東京電機大学）
		学士（工学）（東京電機大学）
		学士（情報学）（東京電機大学）
情報環境学部	情報環境学科	学士（情報環境学）（東京電機大学）
未来科学部	建築学科	学士（工学）（東京電機大学）
	情報メディア学科	学士（工学）（東京電機大学）
	ロボット・メカトロニクス学科	学士（工学）（東京電機大学）

第 7 章 入学、学籍の異動及び賞罰

第 33 条（入学の時期） 入学の時期は、学年もしくは学期の始めとする。

第 34 条（入学資格） 本大学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- ① 高等学校を卒業した者もしくは通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- ② 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ④ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ⑦ その他、本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第 35 条（入学志願手続） 入学志願者は、指定の期間内に、入学志願手続をとらなければならない。

第 36 条 (入学者の選考) 本大学に入学するには、入学者の選考に合格しなければならない。

2 入学者の選考は、学力検査、調査書の審査、面接、健康診断等の方法により行う。

第 37 条 (入学手続) 入学者の選考に合格した者は、指定の期日までに、保証人連署の誓約書
その他必要な書類に、別表第3に定める学費を添えて、入学の手続をしなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に、入学を許可する。

第 38 条 (保証人) 学生は、在学中、保証人がなければならない。

2 保証人は、父、母、またはその他の成年者で、独立の生計を営む者でなければならない。

3 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

第 39 条 (変更の届) 学生は、氏名、本籍、住所及び保証人もしくはその住所に変更があった
ときは、すみやかに届出なければならない。

第 40 条 (編入学・転入学) 次の各号のいずれかに該当する者が、所定の手続を経て、編入学
を願い出たときは、定員に余裕がある場合にかぎり、選考のうえ、許可することがある。た
だし、情報環境学部においては、編入学定員の範囲内において選考のうえ、許可する。

① 大学を卒業した者

② 短期大学を卒業した者

③ 高等専門学校を卒業した者

④ 他の大学で1年以上を修了した者

⑤ その他法令により編入学を認められた者

2 他の大学の学生が、所定の手続を経て、転入学を願い出たときは、定員に余裕のある場合
にかぎり、選考のうえ、許可することがある。

3 前2項により編入学または転入学した者の在学年数には、本条による入学以前の学校在学
年数の全部または一部を算入する。

4 本大学の学生が他の大学に転入学を志望するときは、事情により許可することがある。

第 41 条 (転学部・転学科) 本大学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、定員に余
裕がある場合にかぎり、選考のうえ、許可することがある。

2 転学部または転学科した者の在学年数には、前に在籍した学部または学科の在学年数の全
部または一部を算入する。

第 42 条 (休学) 傷病またはやむを得ない理由により、ひき続き3ヶ月以上出席することがで
きない者は、医師の診断書または理由書を添え、保証人と連署のうえ、休学を願い出て、学
部長の許可を受けて休学することができる。

第 43 条 (休学期間) 休学期間は、休学の許可を受けた年度かぎりとする。ただし、特別の事
情があると認めたときは、願い出により、休学期間の延長を許可することがある。

2 休学期間は、通算して3年をこえることができない。

3 休学期間は在学年数に算入しない。

4 工学部、理工学部、情報環境学部及び未来科学部においては、休学者は学期ごとに、
60,000円の在籍料を納入する。工学部第二部においては、休学者は学期ごとに30,000円
の在籍料を納入する。

第 44 条 (復学) 休学した者は、休学の理由が消滅したときは、保証人と連署のうえ、復学を
願い出て、学部長の許可を受けて、復学することができる。

2 復学の時期は、原則として、学期の始めとする。

第45条（退学） 傷病その他の理由により退学をしようとする者は、医師の診断書または理由書を添え、保証人と連署のうえ、願い出て許可を受けなければならない。

第46条（除籍） 次の各号のいずれかに該当する者は除籍する。

- ① 最長在学年数をこえた者
- ② 工学部、工学部第二部及び未来科学部においては、同一学年に通算して4年の在学をこえてなお進級できない者。また、理工学部においては、同一学年に通算して4年の在学をこえてなお進級・卒業できない者
- ③ 学業成績が特に不良で、改善の見込みがない者
- ④ 第43条第2項に定める通算休学期間をこえてなお復学しない者
- ⑤ 正当な理由がなく、無届で、ひき続き3ヶ月以上欠席した者
- ⑥ 工学部、理工学部、工学部第二部及び未来科学部において、前期分学費を7月末日までに、後期分学費を1月末日までに納入しない者。情報環境学部においては、前期分学費を7月15日までに、後期分学費を12月15日までに納入しない者

第47条（再入学） 本大学を退学した者または除籍された者が、再び入学を願い出たときは、定員に余裕がある場合にかぎり、選考のうえ、許可することがある。ただし、懲戒による退学者の再入学は、許可しない。

第48条（留学） 本大学の学生が、外国の大学等の授業科目を履修するため、当該大学等への留学を希望し、かつ本人の教育上有益であると認める場合、これを許可することができる。

2 留学期間は1年を原則とする。ただし、本学が認めた大学等への短期留学については、1年未満であっても特別に留学を認めることができる。

3 前項により認められた留学期間については、1年を限度として第11条に定める修業年数に算入することができる。

4 留学期間中における学費は、事情により減額もしくは免除することができる。

第49条（表彰） 学生として表彰に価する行為があった者は、学長が表彰することができる。

第50条（懲戒） 本大学の規則・規程に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 懲戒の種類は、その情状により、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行なう。

- ① 性行不良で改善の見込みがない者
- ② 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分にいちじるしく反した者

第8章 学費及びその他の費用

第51条（学費及びその他の費用） 入学検定料、学費及び科目等履修費は、別表第3とする。

2 学費とは、入学金、授業料、実験実習料、教育充実費をいう。

3 学費及びその他の費用は、所定の期日までに納入しなければならない。

4 すでに納入した学費及びその他の費用は返還しない。ただし、入学手続きのために納入し

た学費その他の費用については、学費取扱規程の定めによる。

5 入学金を除く学費は分納することができる。

第9章 研究生、研究員、科目等履修生及び外国人留学生

第52条（研究生・研究員） 本大学において特定の教員の指導のもとに研究することを志願する者は、選考のうえ、研究生として受入れることができる。

2 本大学において特定の専門事項について特定の教員と協力して研究を行うことを志望する者は、選考のうえ、研究員として受入れることができる。

第53条（科目等履修生） 本大学の学生以外の者で、本大学で開設している1または複数の授業科目の履修を希望する者は、本大学の教育研究に支障のない範囲内で、選考のうえ、科目等履修生として科目等の履修を許可することができる。

2 科目等履修生については、別に定める。

第54条（外国人留学生） 外国人で第34条に定める入学資格がある者は、選考のうえ、外国人特別学生として入学を許可することができる。

2 外国人で本学における特定の授業科目を聴講することを志願する者は、選考のうえ、外国人特別聴講生として入学を許可することができる。

3 外国人で本学における特定の教員について研修を志願する者は、選考のうえ、外国人特別研究生として受入れを許可することができる。

第55条（社会人特別学生） 社会人で第34条に定める入学資格がある者は、選考のうえ、社会人特別学生として入学を許可することができる。

2 社会人特別学生は、企業依託学生及び工学部第二部社会人コース学生とする。

3 社会人特別学生についての事項は、別に定める。

第56条（準用） 前3条の規定に抵触しないかぎり、本学則の他の規定は、科目等履修生、外国人留学生及び社会人特別学生に準用する。

第10章 改正及び雑則

第57条（改正） 本学則の改正は、各学部教授会の議を経なければならない。

第58条（施行細則その他） 本学則施行についての細則その他必要な事項は別に定める。

附 則（省略）

別表第1～3（省略）

2 東京電機大学未来科学部規則

第1章 総 則

第1条 (趣旨) この規則は、東京電機大学学則（以下「大学則」という。）第3条第3項に基づき、未来科学部（以下「本学部」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学期、教育課程及び単位、成績及び卒業その他大学則施行上必要な事項を定める。

第2条 (人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的) 本学部は、21世紀において人類の知的生産活動にふさわしい生活空間（知的住空間、知的情報空間、知的行動空間）を創造することに必要な科学技術とそれを実社会に適用する能力を修得させることを目的とする。

すなわち、自ら問題を発見し解決する能力（プロの能力）と、広い視野と時代の方向性を見通すことのできる心の構え（豊かな教養）を併せ持つ技術者を養成する。

2 本学部の各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 建築学科は、21世紀において人類の知的住空間を創造することに必要な建築技術とそれを実社会に適用する能力を修得させることを目的とする。

すなわち、建築学の「建築計画・意匠」「建築構造・情報」「建築環境・設備」分野の専門能力と豊かな教養を併せ持つ技術者を養成する。

(2) 情報メディア学科は、21世紀において人類の知的情報空間を創造することに必要な情報メディア技術とそれを実社会に適用する能力を修得させることを目的とする。

すなわち、情報メディア学の「デジタルメディア」「情報通信」分野の専門能力と豊かな教養を併せ持つ技術者を養成する。

(3) ロボット・メカトロニクス学科は、21世紀において人類の知的行動空間を創造することに必要なメカトロニクス技術とそれを実社会に適用する能力を修得させることを目的とする。

すなわち、ロボット・メカトロニクス学の「ロボットデザイン」「メカトロニクス」「情報駆動システム」分野の専門能力と豊かな教養を併せ持つ技術者を養成する。

第2章 学年及び学期

第3条 (学年・学期) 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から9月10日まで

後学期 9月11日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程及び単位

第4条（授業科目） 授業科目の区分は、共通教育科目、専門教育科目及び教職課程に関する科目とし、別表第1のとおり開講する。

第5条（履修の要件） 本学部における履修の要件については、別表第2のとおりとする。

第6条（履修単位の制限） 本学部では、各学期に履修できる単位数を24単位までとする。ただし、自由科目及び集中講義科目は、履修できる単位数の上限に含まない。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、前項に定める上限を超えて、科目を履修することができる。履修方法は別に定める。

第7条（教員の免許状授与の所要の資格の取得） 本学部において取得できる免許状の種類は大学別表第2とし、教職課程に関する科目及び必要な授業科目は別表第3とする。

第4章 成績及び卒業

第8条（成績評価・単位認定） 本学部は大学則第26条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本学部における、成績評価及びGPA（Grade Point Average）ポイントは、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GPA ポイント
90～100	S	4
80～89	A	3
70～79	B	2
60～69	C	1
0～59	D	0
放棄	—	0

第9条（卒業） 本学部は、4年以上在学し、第5条別表第2に規定する履修の要件に従い、建築学科は合計128単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は合計124単位以上を修得した者を卒業と認定する。

2 本学部は、大学則第31条第2項に定める卒業の基準を別に定める。

第5章 改正

第10条（改正） この規則の改正は、本学部教授会の議を経なければならない。

附 則（省略）

別表1（省略）

別表第2 未来科学部の履修の要件

未来科学部においては、次により建築学科については128単位以上、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科については124単位以上を履修し、修得しなければならない。

区 分		単 位 数	
		建築学科	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科
共通教育科目	人間科学科目 スキル・キャリア コミュニケーション スポーツ・健康 人間理解 社会理解 異文化理解 技術者教養	16単位 (「技術者教養」科目2単位を含む)	
	英語科目	6単位	
専門教育科目	基礎共通科目 専門科目 学部キャリア科目	96単位	88単位
任意に選択し、修得した科目		10単位	14単位
合 計		128単位	124単位

備考 専門教育科目については、各学科において定めている必修科目の単位の全部を履修し、修得しなければならない。

建築学科においては、特別研究、特別設計の両方又はいずれかを履修し、修得しなければならない。

別表3 (省略)

3 試験に関する細則

第1条（目的） 本細則は、大学及び大学院の学則に定める試験について、その細部のことを定める。

第2条（試験の種類） 試験は学期末試験、中間試験、追試験とする。

2 学期末試験は授業科目を履修する全学生を対象として、各学期末又は学年末に履修終了の認定のために行う試験をいう。

3 中間試験は授業科目を履修する全学生を対象として、学期の中間に随時行う試験をいう。

4 追試験は急病等真にやむを得ない事情により、学期末試験又は中間試験を受けることのできなかった学生を対象として、当該授業科目を担当する教員が必要と認めたときに随時行う試験をいう。

5 第1項に定めるほか再試験を加えることができる。

第3条（再試験） 再試験は前条第2項に定める試験の成績不良のため履修終了が認定されない学生を対象として、当該科目を担当した教員が特に必要と認めるとき行う試験をいい、その成績をもって履修終了の認定にあてることができる。

第4条（受験資格） 学期末試験又は中間試験を受験するには、定められた期間に当該科目に対し履修登録を行い、かつ、その授業に常時出席していなければならない。

2 第2条第1項に定める試験を受験するには、前項のほか、その期までの学費を納入していなければならない。

3 追試験は学期末試験の受験資格をみだし、かつ、学部事務部が指定する期間内に所定の手続きをした学生につき考慮するものとする。なお、中間試験における追試験については科目担当者の指示によるものとする。

第5条（追・再試験の手続き） 追試験の受験を希望する者は、学部事務部の指定する期間内に所定の受験料を添えて追試験願を学部事務部に提出し、受験票の交付を原則受けなければならない。

2 特に指定して行われる再試験においては、前項に定める手続きをしなければならない。

第6条（学生証、受験票の提示） 学期末試験の受験者は定刻までに試験室に入り、つねに学生証を机の上に置かななければならない。

2 追試験又は再試験の受験者は、前項によるほか、受験票を机の上に置かななければならない。

第7条（遅刻及び退室） 受験者の遅刻は、試験開始後30分以内は認める。ただし、試験時間は延長しない。

2 受験者の退室は、試験開始後40分を経過してから試験終了10分前まで許可する。

3 前2項については、当該学部の教授会または研究科委員会の議を経て、取扱いを変更することができる。

第8条（試験監督者） 試験監督者は、当該試験実施について一切の権限を有する。

2 試験監督者は、前項の権限に基づいて処置した事項について、試験終了後直ちに学部長（又はその代行者）に報告しなければならない。

3 試験監督者については、前2項に定めるもののほか、試験監督規程として別に定める。

第9条（不正行為） 試験監督者は、試験中に不正行為を行った学生があるときには、その答案を取上げた上退室を命ずるものとする。

2 試験監督者は、試験中に受験態度不良若しくは試験監督者の注意に違反した学生があるときには、その答案を取上げた上退室を命ずることができる。

3 前2項の場合には、試験監督者はその試験終了後、直ちに学部長（又はその代行者）に事情を報告するものとする。

第10条（不正行為に対する処置） 前条の場合には、学部長は教授会の議を経て、当該学生に対し次の各号のうち、いずれかの処置を行い、これを公示し、かつ、その学生の保証人に通知するものとする。

(1) 当該試験の属する**学期末**試験の一部又は全部を無効とする。

(2) 当該試験を無効とする。

付 則（抜粋）

本細則第8条第2項、第9条第3項及び第10条の学部長は、大学院研究科においては研究科委員長と読み替えるものとする。

4 学生アドバイザーに関する規程

第1条 (目的) この規程は、東京電機大学（以下「本学」という）の学生（学部）が有意義な大学生活を送るため、本学教員が、学生の在学期間中において、修学、就職指導、課外活動その他学生生活全般に関して、指導又は助言等を行う学生アドバイザーについて必要な事項を定める。

第2条 (責務) 学生アドバイザーは、学生に対し、次に関する事項について指導又は助言等を行う。

- (1) 修学に関する事項
- (2) キャリア教育、進路、就職に関する事項
- (3) 学生生活に関する事項
- (4) 奨学金に関する事項
- (5) 学生の諸手続きに関する事項
- (6) その他学生生活全般に関する事項

2 学生アドバイザーは、第1項に定める指導または助言等を円滑に行うため、週1時間のオフィスアワーを設け、自ら選定した場所に在室するものとする。

3 前項のオフィスアワー及び在室場所については、予め当該学部の学生に周知するものとする。

第3条 (委嘱) 学部長は、原則として、任期付教員及び特別専任教授を除く専任教員のうち、学科、学系から推薦された教員を学生アドバイザーとして委嘱する。

2 学部長は、委嘱した学生アドバイザーを当該学部教授会に報告する。

第4条 (任期) 学生アドバイザーの任期は、各学部において決定する。

第5条 略

第6条 (報告) 学生アドバイザーは、担当する学生と面談した結果、相談された事案に対処できないと判断した場合、学生が所属する学科長又は学系長にその内容を報告するものとする。

2 第1項の報告を受けた学科長又は学系長は適切な対応を図るとともに、必要に応じて当該学部長並びに学生支援センター長に報告するものとする。

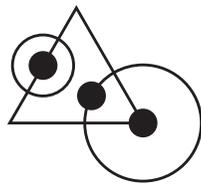
3 学部長並びに学生支援センター長は、第2項において報告を受けた事項について、必要な措置を講ずるものとする。

4 本条に係る者は、知り得た情報をみだりに他に漏らしてはならない。

第7条 (その他) この規程に定めるもののほか、学生アドバイザーに関し必要な事項は、各学部、学生支援センターおよび関係部署と協議のうえ決定する。

第8条 (規程の改廃) この規程の改廃は、学生支援センター運営委員会及び学部長会の議を経て、各学部教授会の承認を経なければならない。

付 則 (省略)



未来科学部